

LX-10000F/LX-7000F/WF-C20590/WF-C17590  
セキュリティターゲット

ST バージョン: Rev.10

作成日: 2018 年 05 月 15 日

作成者: セイコーエプソン株式会社

## 改訂履歴

Rev.	改訂部	改訂内容	設計部門			制定・改訂 年月日
			作成	確認	承認	
01	・ 全章	・ 新規作成	阿藤	河原 仁木	大島	2017/10/31
02	・ 1.3 章, 1.4 章, 6.1 章, 7.2 章, 7.3 章, 7.4 章, 7.6 章	・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	大島	2017/12/05
03	・ 1.4 章 ・ 6.1 章	・ 確定事項記載 ・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	大島	2017/12/14
04	・ 1.3 章, 7.5 章 ・ 7.8 章	・ 確定事項記載 ・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	大島	2018/01/15
05	・ 1.3 章, 1.4 章	・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	大島	2018/01/18
06	・ 1.2 章, 1.4 章	・ TOE バージョン更新 ・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	大島	2018/02/22
07	・ 6.1 章, 7.4 章, 7.7 章	・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	木村	2018/04/19
08	・ 1.2 章 ・ 7.2 章	・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	木村	2018/05/10
09	・ 7.2 章	・ 指摘事項修正	阿藤	河原 仁木	木村	2018/05/14
10	・ 1.4 章	・ 誤記訂正	阿藤	河原 仁木	木村	2018/05/15
	・	・				

## 目次

1.	ST Introduction.....	4
1.1.	ST Reference.....	4
1.2.	TOE Reference.....	4
1.3.	TOE Overview.....	4
1.3.1.	TOE の種別.....	4
1.3.2.	TOE の使用方法.....	4
1.3.3.	TOE の主要なセキュリティ機能.....	6
1.4.	TOE Description.....	7
1.4.1.	利用者定義.....	7
1.4.2.	保護資産.....	7
1.4.3.	TOE の物理的範囲.....	9
1.4.4.	ガイダンス.....	10
1.4.5.	TOE の論理的範囲.....	11
1.4.6.	TOEに必要な TOE 以外のハードウェア/ソフトウェア/ファームウェア.....	12
1.5.	用語・略語.....	13
2.	Conformance Claims.....	14
2.1.	CC Conformance Claim.....	14
2.2.	PP Conformance Claim.....	14
2.3.	Package Conformance Claim.....	14
2.4.	SFR Package functions.....	14
2.5.	SFR Package attributes.....	15
2.6.	PP Conformance Rationale.....	15
2.6.1.	PP の TOE 種別との一貫性主張.....	16
2.6.2.	PP のセキュリティ課題とセキュリティ対策方針との一貫性主張.....	16
2.6.3.	PP のセキュリティ要件との一貫性主張.....	16
3.	Security Problem Definition.....	18
3.1.	Threats agents.....	18
3.2.	Threats to TOE Assets.....	18
3.3.	Organizational Security Policies for the TOE.....	18
3.4.	Assumptions.....	19
4.	Security Objectives.....	20
4.1.	Security Objectives for the TOE.....	20
4.2.	Security Objectives for the IT environment.....	20
4.3.	Security Objectives for the non-IT environment.....	21
4.4.	Security Objectives rationale.....	21
5.	Extended components definition.....	26
5.1.	FPT_FDI_EXP Restricted forwarding of data to external interfaces.....	26

6.	Security Requirements .....	28
6.1.	Security Functional Requirements .....	28
6.1.1.	Class FAU: Security audit.....	28
6.1.2.	Class FDP: User data protection .....	30
6.1.3.	Class FIA: Identification and authentication .....	36
6.1.4.	Class FMT: Security management .....	40
6.1.5.	Class FPT: Protection of the TSF .....	46
6.1.6.	Class FTA: TOE access .....	47
6.1.7.	Class FTP: Trusted paths/channels .....	48
6.2.	Security Assurance Requirements .....	48
6.3.	Security Requirements Rationale.....	49
6.3.1.	Security Functional Requirements rationale.....	49
6.3.2.	Security Assurance Requirements rationale.....	53
6.3.3.	依存性分析 .....	54
7.	TOE Summary Specification .....	56
7.1.	ユーザ識別・認証機能 .....	56
7.2.	利用者データアクセス制御機能.....	58
7.3.	TOE 機能アクセス制御機能.....	62
7.4.	セキュリティ管理機能.....	63
7.5.	残存データ消去機能 .....	65
7.6.	自己テスト機能 .....	65
7.7.	監査ログ機能 .....	66
7.8.	ネットワーク保護機能.....	67

## 1. ST Introduction

本章は、ST 参照、TOE 参照、TOE 概要、及び TOE 記述を記す。

### 1.1. ST Reference

ST 名称: LX-10000F/LX-7000F/WF-C20590/WF-C17590 セキュリティターゲット  
ST バージョン: Rev.10  
作成日: 2018/05/15  
作成者: セイコーエプソン株式会社

### 1.2. TOE Reference

TOE 名称: LX-10000F/LX-7000F/WF-C20590/WF-C17590  
TOE バージョン: 2.00  
製造者: セイコーエプソン株式会社  
対象製品: LX-10000F/LX-7000F/WF-C20590/WF-C17590/WF-C20590a/WF-C17590a  
CC 認証製品として運用する場合、その旨を代理店または営業担当者に依頼すること

### 1.3. TOE Overview

本章は、TOE の種別、TOE の使用方法、及び TOE の主要なセキュリティ機能を記す。

#### 1.3.1. TOE の種別

本 ST にて定義する TOE は、LAN 環境で使用され、プリント機能、スキャン機能、コピー機能、及び FAX 機能を有するデジタル複合機（以下、MFP と略す）のことである。

#### 1.3.2. TOE の使用方法

本 TOE の利用環境を図 1-1 に示す。

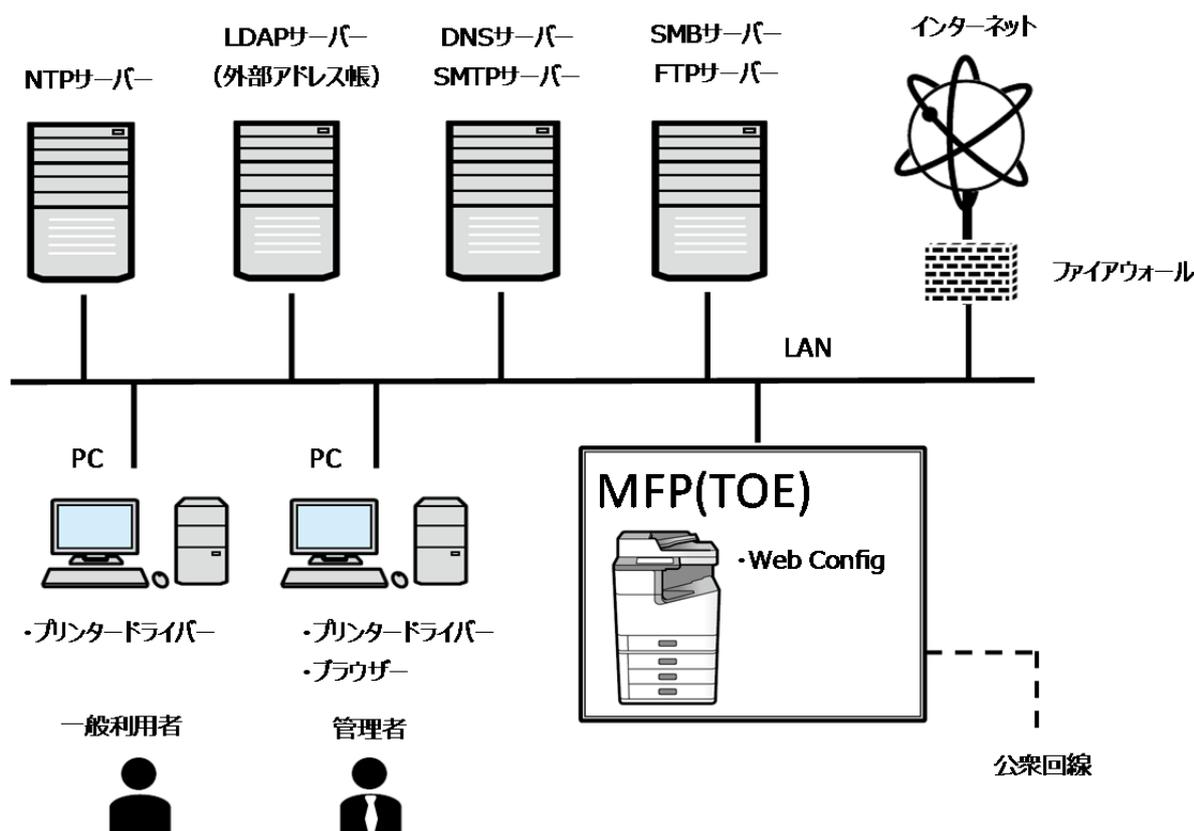


図 1-1. TOE の利用環境

TOE は LAN と公衆回線に接続して使用する。利用者は TOE が備える操作パネルまたは LAN を介して通信することにより、TOE を操作することができる。図 1-1 の各要素に関して、以下に説明する。

- (1) MFP  
MFP (Multi Function Peripheral) とは、複数の異なる機能 (プリンター、スキャナー、コピー、FAX 等) を併せ持つコンピュータ周辺機器のこと。
- (2) LAN  
LAN (Local Area Network) とは、ケーブルや無線などを使用して、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのこと。
- (3) 公衆回線  
公衆回線とは、一般の加入電話回線のこと。FAX の送受信に使用する。
- (4) ファイアウォール  
ファイアウォールとは、あるコンピュータやネットワークと外部ネットワークの境界に設置され、内外の通信を中継・監視し、外部の攻撃から内部を保護するためのソフトウェアや機器、システムなどのこと。
- (5) PC  
PC (Personal Computer) とは、個人向けの小型、低価格の汎用コンピュータ製品のこと。
- (6) NTP サーバー  
NTP (Network Time Protocol) にて現在時刻のデータを配信するサーバーソフトウェアのこと。

(7) LDAP サーバー(外部アドレス帳)

LDAP サーバーとは、LDAP(Light Directory Access Protocol)を利用して、インターネットなどの TCP/IP ネットワークにおいて標準的に使用されるディレクトリサービスにアクセスするためのサーバーソフトウェアのこと。また、そのような LDAP サーバーソフトウェアが動作しているサーバー機体を指す。LDAP サーバーにてアドレス帳を管理し、FAX データの宛先指定に使用する。

(8) DNS サーバー / SMTP サーバー

DNS サーバーとは、DNS(Domain Name System)を利用して、内部ネットワーク内の各サーバー名を IP アドレスに変換するためのサーバーソフトウェアのこと。また、そのような DNS サーバーソフトウェアが動作しているサーバー機体を指す。SMTP サーバーとは、SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)を利用して、インターネットなどの TCP/IP ネットワークにおいて標準的に使用されるメールを伝送するためのサーバーソフトウェアのこと。また、そのような SMTP サーバーソフトウェアが動作しているサーバー機体を指す。スキャンデータのメール送信用に使用する。DNS サーバーと SMTP サーバーは、独立して設置しても良い。

(9) SMB サーバー / FTP サーバー

SMB サーバーとは、SMB(Server Message Block)を利用して、ネットワーク(LAN)上の複数の Windows コンピュータ間にてファイル共有やプリンター共有などを行うためのサーバーソフトウェアのこと。また、そのような SMB サーバーソフトウェアが動作しているサーバー機体を指す。FTP サーバーとは、FTP(File Transfer Protocol)を利用して、ファイルの送受信を行うためのサーバーソフトウェアのこと。また、そのような FTP サーバーソフトウェアが動作しているサーバー機体を指す。両サーバーともスキャンデータ及び FAX 受信データの転送用に使用する。

(10) プリンタードライバー

プリンタードライバーとは、コンピュータからプリンターに接続して操作するために必要なソフトウェアのこと。OS にハードウェア制御の機能を追加するデバイスドライバーの一種であり、通常はプリンターの機種ごと、及び OS の種類ごとに固有のものが必要となる。

(11) ブラウザー

ブラウザーとは、データや情報をまとまった形で閲覧するためのソフトウェアのこと。

(12) Web Config

セイコーエプソン製 MFP に内蔵された機能のこと。プリンターまたは複合機の IP アドレスに対して、ブラウザー経由にてアクセスすることにより、各種設定(プリント設定、ネットワーク設定、利用者制限設定、管理者パスワード設定等)を行うことが可能となる。

### 1.3.3.TOE の主要なセキュリティ機能

本 TOE の主要なセキュリティ機能を以下に記す。

(1) ユーザ識別・認証機能

TOE に対する利用者を識別認証する機能

(2) 利用者データアクセス制御機能

利用者データに対する操作を制御する機能

(3) TOE 機能アクセス制御機能

TOE 機能を制御する機能

(4) セキュリティ管理機能

セキュリティ機能を管理する機能

(5) 残存データ消去機能

削除された文書及び一時的に保存された文書を HDD 及び Flash ROM から完全に消去し、再利用不可とする機能

(6) 自己テスト機能

TSF の一部及び TSF 実行コードが正常であることを MFP 本体起動時に検証する機能

(7) 監査ログ機能

TOE の使用及びセキュリティ関連事象を監査ログとして記録し、参照する機能

(8) ネットワーク保護機能

LAN 利用時、ネットワークの盗聴による情報漏えい及び改変を防止する機能

#### 1.4. TOE Description

本章は、利用者定義、保護資産、TOE の物理的範囲、ガイダンス、TOE の論理的範囲、及び TOE に必要な TOE 以外のハードウェア/ソフトウェア/ファームウェアを記す。

##### 1.4.1.利用者定義

本 TOE の利用者を表 1-1 に示す

表 1-1. 利用者定義

名称	定義
U.USER 利用者	Any authorized User.
U.NORMAL 一般利用者	A User who is authorized to perform User Document Data processing functions of the TOE.
U.ADMINISTRATOR 管理者	A User who has been specifically granted the authority to manage some portion or all of the TOE and whose actions may affect the TOE security policy (TSP). Administrators may possess special privileges that provide capabilities to override portions of the TSP.

##### 1.4.2.保護資産

保護資産とは、User Data、TSF Data、及び Functions のことである。

###### (1) User Data

User Data とは、ユーザによって作成される TOE のセキュリティ機能には影響を与えないデータのことであり、以下 2 種類に分類される。

表 1-2. User Data

名称	PP での定義

D.DOC	User Document Data consist of the information contained in a user's document. This includes the original document itself in either hardcopy or electronic form, image data, or residually stored data created by the hardcopy device while processing an original document and printed hardcopy output.
D.FUNC	User Function Data are the information about a user's document or job to be processed by the TOE.

## (2) TSF Data

TSF Dataとは、TOEのセキュリティ機能に影響を与えるデータのことであり、以下2種類に分類される。

表 1-3. TSF Data

名称	PPでの定義
D.PROT	TSF Protected Data are assets for which alteration by a User who is neither an Administrator nor the owner of the data would have an effect on the operational security of the TOE, but for which disclosure is acceptable.
D.CONF	TSF Confidential Data are assets for which either disclosure or alteration by a User who is neither an Administrator nor the owner of the data would have an effect on the operational security of the TOE.

本TOEが対象とするTSFデータを表1-4に示す。

表 1-4. 本TOEが対象とするTSFデータ

名称	本STでのTSFデータ	内容
D.PROT	一般利用者 User ID	U.NORMALの識別情報
	管理者 User ID	U.ADMINISTRATORの識別情報 識別子“Administrator”が付与される
	スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック	アドレス帳
	ジョブステータスログ	ジョブ履歴
	パスワードポリシー	パスワードの文字種、及び桁数に関する設定情報
	無操作タイマー設定	操作パネルからのログオンセッションを自動的に終了する時間情報
	管理者認証設定(操作パネル)	操作パネルからの管理者認証を有効化/無効化する設定情報
	利用者制限設定	Web Configから設定可能な各種設定情報(利用機能リストを含む)
	IPsecの設定	IPsecに関する設定情報
	時刻設定	時刻の設定情報
	ネットワーク設定	ネットワークの設定情報
D.CONF	ファームウェアの完全性検証のためのハッシュ値	ファームウェアのファイルから計算されたハッシュ値 TOE内に格納される
	一般利用者パスワード	U.NORMALの認証情報
	管理者パスワード	U.ADMINISTRATORの認証情報

メールサーバーやファイルサーバーなどの外装装置にアクセスするためのパスワード	メールサーバーへアクセスするためのパスワード ファイルサーバーへアクセスするためのパスワード
監査ログ	監査ログ機能により生成されるログ情報
IPsec の事前共有鍵	IPsec において鍵交換に必要な暗号鍵

### (3) Functions

Functions とは、表 2-1 に示す機能のことである。

#### 1.4.3.TOE の物理的範囲

本 TOE の物理的範囲を図 1-2 に示す。

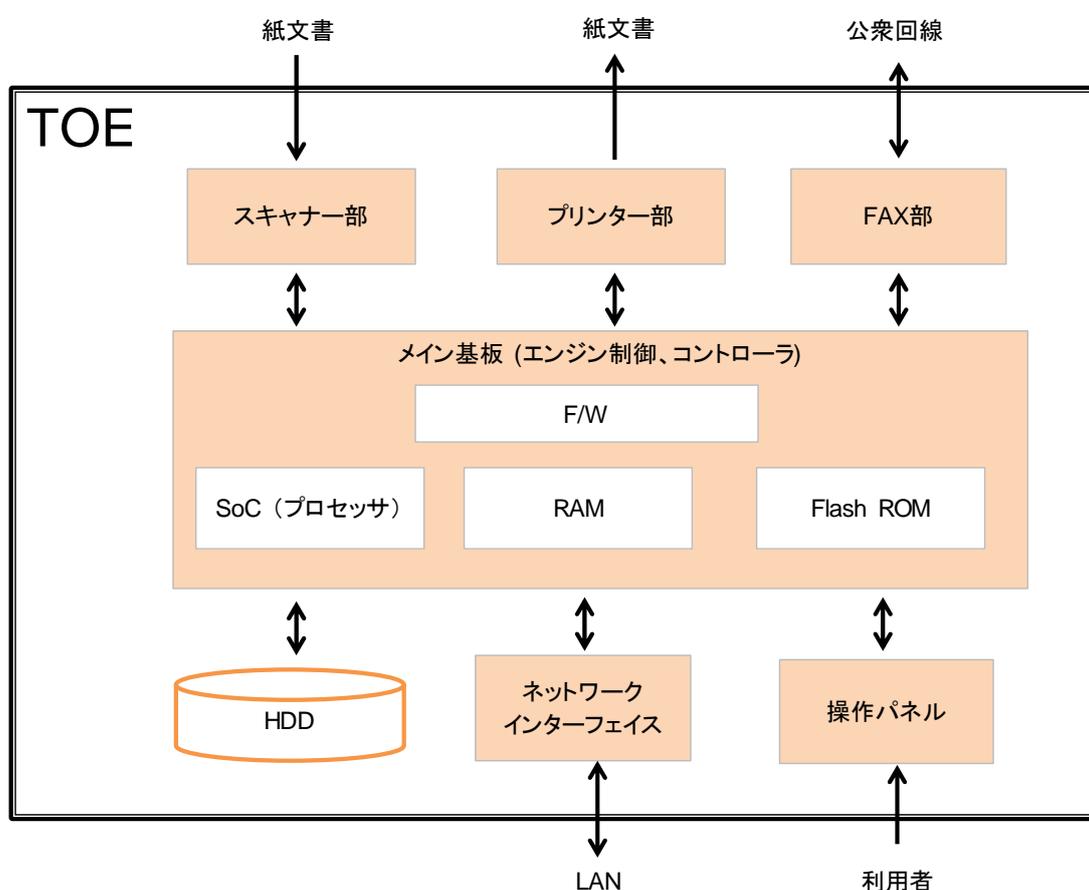


図 1-2. TOE の物理的範囲

TOE はメイン基板、プリンター部、スキャナー部、FAX 部、ネットワークインターフェイス、操作パネル、及び HDD から構成される MFP である。図 1-2 の各要素に関して、以下に説明する。

#### (1) メイン基板

メイン基板とは、電子部品や集積回路(IC)、それらを接続する金属配線などを高密度に実装した部品のこと。

#### (2) F/W

F/W(Firmware)とは、コンピュータなどに内蔵されるソフトウェアの一種であり、本体内部の回路や装置などの基本的な制御を司る機能を持つものこと。

(3) SoC(プロセッサ)

SoC(プロセッサ)とは、各装置の制御やデータの計算・加工を行う装置のこと。メモリに記憶されたプログラムを実行し、入力装置や記憶装置からデータを受け取り、演算・加工した上で、出力装置や記憶装置に出力する。

(4) RAM

RAM(Random Access Memory)とは、データの消去・書き換えが可能なメモリ装置のこと。装置内のどこに記録されたデータであっても等しい時間で読み書き(ランダムアクセス)することができるが、電源が切れるとメモリ上のデータが消える。

(5) Flash ROM

Flash ROM(Read Only Memory)とは、データの消去・書き換えが可能なメモリ装置のこと。電源が切れてもメモリ上のデータが消えない。

(6) プリンター部

プリンター部とは、プリント機能の制御を実装した部品のこと。

(7) スキャナー部

スキャナー部とは、スキャン機能の制御を実装した部品のこと。

(8) FAX 部

FAX 部とは、FAX 機能の制御を実装した部品のこと。

(9) ネットワークインターフェイス

ネットワークインターフェイスとは、MFP を LAN に接続するための装置のこと。

(10) 操作パネル

操作パネルとは、MFP を操作するためのユーザインターフェイス装置のこと。

(11) HDD

HDD(Hard Disk Drive)とは、データを記憶する装置のこと。

#### 1.4.4. ガイダンス

本 TOE を構成するガイダンスを表 1-5 に示す。

表 1-5. TOE を構成するガイダンス一覧

名称	Ver.
ユーザーズガイド	NPD5875-00 JA
システム管理者ガイド	NPD5680-01 JA
セキュリティ機能補足ガイド	NPD5895-00 JA
ご使用の前に	4135818-00
User's Guide	NPD5875-00 EN
Administrator's Guide	NPD5680-01 EN
Supplemental Security Guide	NPD5895-00 EN
Before Use	4135818-00

### 1.4.5. TOE の論理的範囲

本 TOE の論理的範囲を図 1-3 に示す。

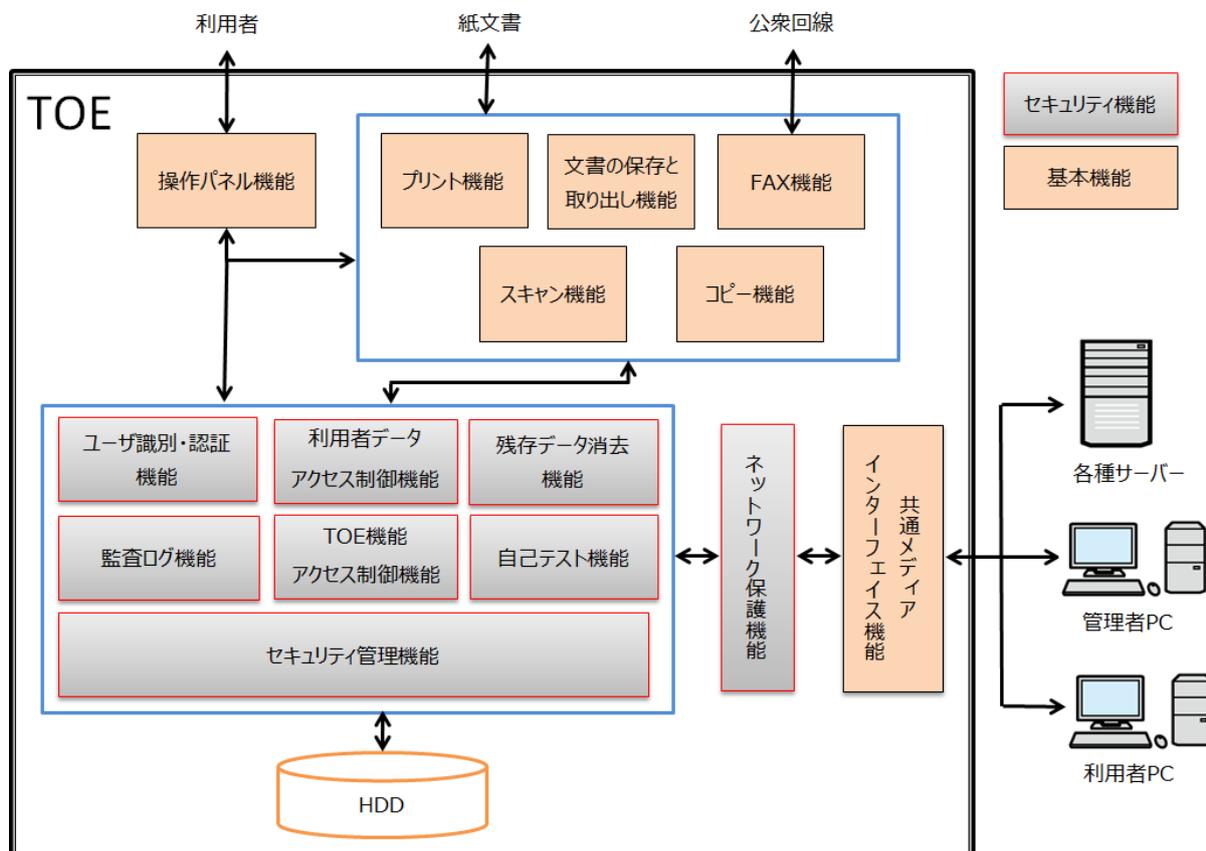


図 1-3. TOE の論理的範囲

図 1-3 の各要素に関して、以下に説明する。

#### ◆ TOE が提供する基本機能

##### (1) プリント機能

クライアントから LAN を経由して受信したデジタル文書を印刷する機能

##### (2) スキャン機能

利用者による操作パネルからの操作により、紙文書を読み取り、デジタル文書を生成する機能

##### (3) コピー機能

利用者による操作パネルからの操作により、紙文書を読み取り、その画像を複写印刷する機能

##### (4) FAX 機能

外部 FAX にデジタル文書を送信する機能 (FAX 送信機能) 及び外部 FAX からデジタル文書を受信する機能 (FAX 受信機能)

###### – FAX 送信機能

公衆回線を介してデジタル文書を外部の FAX 装置に送信する機能

###### – FAX 受信機能

公衆回線を介してデジタル文書を外部の FAX 装置から受信する機能

## (5) 文書の保存と取り出し機能

TOE 内部にデジタル文書を保存し、その保存したデジタル文書を取り出す機能

## - FAX ボックス機能

FAX 機能によるデジタル文書を保存する機能

## (6) 共有メディアインターフェイス機能

TOE の利用者がクライアント PC から TOE をリモート操作するための機能

## (7) 操作パネル機能

操作パネルを制御する機能

## ◆ TOE が提供するセキュリティ機能

## (1) ユーザ識別・認証機能

TOE に対する利用者を識別認証する機能

## (2) 利用者データアクセス制御機能

利用者データに対する操作を制御する機能

## (3) TOE 機能アクセス制御機能

TOE 機能を制御する機能

## (4) セキュリティ管理機能

セキュリティ機能を管理する機能

## (5) 残存データ消去機能

削除された文書及び一時的に保存された文書を HDD 及び Flash ROM から完全に消去し、再利用不可とする機能

## (6) 自己テスト機能

TSF の一部及び TSF 実行コードが正常であることを MFP 本体起動時に検証する機能

## (7) 監査ログ機能

TOE の使用及びセキュリティ関連事象を監査ログとして記録し、参照する機能

## (8) ネットワーク保護機能

LAN 利用時、ネットワークの盗聴による情報漏えい及び改変を防止する機能

## 1.4.6. TOE に必要な TOE 以外のハードウェア/ソフトウェア/ファームウェア

TOE を利用するためには、以下のソフトウェア及びそれらが動作するハードウェアが必要である。

表 1-6. TOE に必要な TOE 以外のソフトウェア

ソフトウェア	評価にて使用したバージョン
NTP サーバー	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
LDAP サーバー	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
DNS サーバー	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
SMTP サーバー	hMailServer 5.6.6-B2383
SMB サーバー	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
FTP サーバー	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard

プリンタードライバー	Microsoft Windows 用 日本語版:Epson Printing System(J) Version 2.67.00 英語版:Epson Printing System(A) Version 2.67.00
ブラウザ	Internet Explorer 11

※英語版プリンタードライバーの、( )内の文字はドライバーをインストールした PC のタイムゾーンを示す。

使用する PC のタイムゾーンが北米時間以外の場合、( )内には"W"が表示されるが、同一のプリンタードライバーである。

### 1.5. 用語・略語

表 1-7 において、本 ST における特定の用語及び略語の意味を定義する。

表 1-7. 用語・略語

用語	定義
一般利用者 User ID	U.NORMAL、D.DOC 及び D.FUNC に付与される属性 U.NORMAL に一意の識別子が付与される
利用者役割	U.USER に付与される属性 一般利用者及び管理者がある U.NORMAL に一般利用者、U.ADMINISTRATOR に管理者が付与される
利用機能リスト	U.NORMAL に付与される属性 U.NORMAL に対して、利用を許可された機能のリストが付与される プリント機能(PRT)、スキャン機能(SCAN)、コピー機能(CPY)、FAX 受信機能(FAXI N)、FAX 送信機能(FAXOUT)、及び文書の保存と取り出し機能(DSR)がある
MFP 機能	TOE が提供するプリント機能、スキャン機能、コピー機能、FAX 機能、及び文書の保存と取り出し機能の総称
機能種別	MFP 機能に付与される属性 プリント属性、スキャン属性、コピー属性、FAX 属性、及び文書の保存と取り出し属性がある
文書情報属性	D.DOC 及び D.FUNC に付与される属性 プリント、スキャン、コピー、FAX 受信、FAX 送信、及び文書の保存と取り出しがある
ジョブ	D.DOC に対する MFP 機能による処理の開始から完了までの処理単位のこと
パスワード付き印刷ジョブ	一般利用者 User ID 及び一般利用者パスワードが付加された印刷ジョブのこと

## 2. Conformance Claims

本章は、適合主張を記す。

### 2.1. CC Conformance Claim

本 ST の CC 適合主張を以下に記す。

Common Criteria version: Version 3.1 Release 4

Common Criteria conformance: Part 2 extended and Part 3 conformant

### 2.2. PP Conformance Claim

本 ST の PP 適合主張を以下に記す。

PP identification: U.S. Government Approved Protection Profile – U.S. Government  
Protection Profile for Hardcopy Devices Version 1.0  
(IEEE Std 2600.2 TM-2009)

PP version: 1.0

※ 本 PP は Common Criteria Portal に掲載されている「IEEE Standard Protection Profile for Hardcopy Devices in IEEE Std 2600-2008, Operational Environment B」に適合し、かつ「CCEVS Policy Letter #20」も満たしている。

### 2.3. Package Conformance Claim

本 ST の Package 適合主張を以下に記す。

This ST conforms to Common Criteria Evaluation Assurance Level (EAL) 2 augmented by ALC\_FLR.2.  
SFR Packages conform to PP are as follows.

- 2600.2-PRT, SFR Package for Hardcopy Device Print Functions, Operational Environment B (Package Version 1.0, dated March 2009)
- 2600.2-SCN, SFR Package for Hardcopy Device Scan Functions, Operational Environment B (Package Version 1.0, dated March 2009)
- 2600.2-CPY, SFR Package for Hardcopy Device Copy Functions, Operational Environment B (Package Version 1.0, dated March 2009)
- 2600.2-FAX, SFR Package for Hardcopy Device FAX Functions, Operational Environment B (Package Version 1.0, dated March 2009)
- 2600.2-DSR, SFR Package for Hardcopy Device Document Storage and Retrieval (DSR) Functions, Operational Environment B (Package Version 1.0, dated March 2009)
- 2600.2-SMI, SFR Package for Hardcopy Device Shared-medium Interface Functions, Operational Environment B (Package Version 1.0, dated March 2009)

### 2.4. SFR Package functions

Functions perform processing, storage, and transmission of data that may be present in HCD products.  
The functions that are allowed, but not required in any particular conforming Security Target or Protec

tion Profile, are listed in 表 2-1.

**表 2-1. SFR Package functions**

名称	定義
F.PRT	Printing: a function in which electronic document input is converted to physical document output
F.SCN	Scanning: a function in which physical document input is converted to electronic document output
F.CPY	Copying: a function in which physical document input is duplicated to physical document output
F.FAX	Faxing: a function in which physical document input is converted to a telephone-based document facsimile (fax) transmission, and a function in which a telephone-based document facsimile (fax) reception is converted to physical document output
F.DSR	Document storage and retrieval: a function in which a document is stored during one job and retrieved during one or more subsequent jobs
F.SMI	Shared-medium interface: a function that transmits or receives User Data or TSF Data over a communications medium which, in conventional practice, is or can be simultaneously accessed by multiple users, such as wired network media and most radio-frequency wireless media

## 2.5. SFR Package attributes

When a function is performing processing, storage, or transmission of data, the identity of the function is associated with that particular data as a security attribute. This attribute in the TOE model makes it possible to distinguish differences in Security Functional Requirements that depend on the function being performed. The attributes that are allowed, but not required in any particular conforming Security Target or Protection Profile, are listed in 表 2-2.

**表 2-2. SFR Package attributes**

名称	定義
+PRT	Indicates data that are associated with a print job.
+SCN	Indicates data that are associated with a scan job.
+CPY	Indicates data that are associated with a copy job.
+FAXIN	Indicates data that are associated with an inbound (received) fax job.
+FAXOUT	Indicates data that are associated with an outbound (sent) fax job.
+DSR	Indicates data that are associated with a document storage and retrieval job.
+SMI	Indicates data that are transmitted or received over a shared-medium interface.

## 2.6. PP Conformance Rationale

本章は、PP の TOE 種別との一貫性主張、PP のセキュリティ課題とセキュリティ対策方針との一貫性主張、及び PP のセキュリティ要件との一貫性主張を記す。

### 2.6.1.PP の TOE 種別との一貫性主張

本 TOE は、プリント機能、スキャン機能、コピー機能、FAX 機能、文書の保存と取り出し機能、及び共有メディアインターフェイス機能を有する MFP であることから、「2600.2, Protection Profile for Hardcopy Devices, Operational Environment B」記載のハードコピー装置（以下、HCD と略す）と種別は一貫している。また、本 TOE は、取り外し可能な HDD や他の不揮発性記憶システムを持たないため、「2600.2, Protection Profile for Hardcopy Devices, Operational Environment B」に定義された 7 つの SFR パッケージのうち、「2600.2-NVS, SFR Package for Hardcopy Device Nonvolatile Storage Functions, Operational Environment B」を除く 6 つの SFR パッケージに適合している。

### 2.6.2.PP のセキュリティ課題とセキュリティ対策方針との一貫性主張

セキュリティ課題に関して、本 ST では、PP にて要求される全てのセキュリティ課題と全く同一であり、一貫している。また、セキュリティ対策方針に関して、IT 環境のセキュリティ対策方針から OE.AUDIT\_STORAGE.PROTECTED と OE.AUDIT\_ACCESS.AUTHORIZED を削除し、TOE のセキュリティ対策方針として O.AUDIT\_STORAGE.PROTECTED と O.AUDIT\_ACCESS.AUTHORIZED を追加している。O.AUDIT\_STORAGE.PROTECTED と O.AUDIT\_ACCESS.AUTHORIZED を実行する内部機能は、OE.AUDIT\_STORAGE.PROTECTED と OE.AUDIT\_ACCESS.AUTHORIZED にて要求されていることと同等である。

### 2.6.3.PP のセキュリティ要件との一貫性主張

PP にて要求される SFR と本 ST にて規定する SFR を表 2-3 に示す。

表 2-3. SFR の関係

PP にて要求される SFR	本 ST にて規定する SFR
FAU_GEN.1	FAU_GEN.1
FAU_GEN.2	FAU_GEN.2
	FAU_SAR.1
	FAU_SAR.2
	FAU_STG.1
	FAU_STG.4
FDP_ACC.1(a)	FDP_ACC.1(a)
FDP_ACC.1(b)	FDP_ACC.1(b)
FDP_ACF.1(a)	FDP_ACF.1(a)
FDP_ACF.1(b)	FDP_ACF.1(b)
FDP_RIP.1	FDP_RIP.1
	FIA_AFL.1
FIA_ATD.1	FIA_ATD.1
	FIA_SOS.1
FIA_UAU.1	FIA_UAU.1
	FIA_UAU.7

FIA_UID.1	FIA_UID.1
FIA_USB.1	FIA_USB.1
FMT_MSA.1(a)	FMT_MSA.1(a)
FMT_MSA.1(b)	FMT_MSA.1(b)
FMT_MSA.3(a)	FMT_MSA.3(a)
FMT_MSA.3(b)	FMT_MSA.3(b)
FMT_MTD.1	FMT_MTD.1
FMT_SMF.1	FMT_SMF.1
FMT_SMR.1	FMT_SMR.1
FPT_FDI_EXP.1	FPT_FDI_EXP.1
FPT_STM.1	FPT_STM.1
FPT_TST.1	FPT_TST.1
FTA_SSL.3	FTA_SSL.3
FTP_ITC.1	FTP_ITC.1

本 ST では、PP にて要求される全ての SFR を適用した上で、いくつかの SFR を追加している。また、PP における SFR のうち、FDP\_ACF.1.3(b)を除く、全ての SFR と本 ST にて規定する SFR は全く同一である。PP における FDP\_ACF.1.3(b)は、管理者権限にて操作するユーザに TOE 機能の操作を全て許可することとなっているのに対して、本 ST ではプリント機能の一部(印刷)を制限している。従って、本 ST での FDP\_ACF.1.3(b)は、PP における FDP\_ACF.1.3(b)よりも制限的である。

また、PP では、Common Access Control SFPにおいて、D.FUNC に対して操作「Modify」と操作「Delete」を定義している。しかし、本 TOE では、D.FUNC に対する操作「Modify」を許可しない。これは PP よりも制限的なアクセス制御である。

従って、本 ST は PP に対して同等、または、より制限的であることから、PP に対して論証適合している。

### 3. Security Problem Definition

本章は、脅威、組織のセキュリティ方針、及び前提条件を記す。

#### 3.1. Threats agents

This security problem definition addresses threats posed by four categories of threat agents:

- a) Persons who are not permitted to use the TOE who may attempt to use the TOE.
- b) Persons who are authorized to use the TOE who may attempt to use TOE functions for which they are not authorized.
- c) Persons who are authorized to use the TOE who may attempt to access data in ways for which they are not authorized.
- d) Persons who unintentionally cause a software malfunction that may expose the TOE to unanticipated threats.

The threats and policies defined in this Security Target address the threats posed by these threat agents.

#### 3.2. Threats to TOE Assets

This section describes threats to assets described in 1.4.2.

**表 3-1. Threats to User Data for the TOE**

Threat	Affected asset	Description
T.DOC.DIS	D.DOC	User Document Data may be disclosed to unauthorized persons
T.DOC.ALT	D.DOC	User Document Data may be altered by unauthorized persons
T.FUNC.ALT	D.FUNC	User Function Data may be altered by unauthorized persons

**表 3-2. Threats to TSF Data for the TOE**

Threat	Affected asset	Description
T.PROT.ALT	D.PROT	TSF Protected Data may be altered by unauthorized persons
T.CONF.DIS	D.CONF	TSF Confidential Data may be disclosed to unauthorized persons
T.CONF.ALT	D.CONF	TSF Confidential Data may be altered by unauthorized persons

#### 3.3. Organizational Security Policies for the TOE

This section describes the Organizational Security Policies (OSPs) that apply to the TOE. OSPs are used to provide a basis for Security Objectives that are commonly desired by TOE Owners in this operational environment but for which it is not practical to universally define the assets being protected or the threats to those assets.

**表 3-3. Organizational Security Policies for the TOE**

Name	Definition
P.USER.AUTHORIZATION	To preserve operational accountability and security, Users will be authorized to use the TOE only as permitted by the TOE Owner.

P.SOFTWARE.VERIFICATION	To detect corruption of the executable code in the TSF, procedures will exist to self-verify executable code in the TSF.
P.AUDT.LOGGING	To preserve operational accountability and security, records that provide an audit trail of TOE use and security-relevant events will be created, maintained, and protected from unauthorized disclosure or alteration, and will be reviewed by authorized personnel.
P.INTERFACE.MANAGEMENT	To prevent unauthorized use of the external interfaces of the TOE, operation of those interfaces will be controlled by the TOE and its IT environment.

### 3.4. Assumptions

The Security Objectives and Security Functional Requirements defined in subsequent sections of this Security Target are based on the condition that all of the assumptions described in this section are satisfied.

**表 3-4. Assumptions for the TOE**

Assumption	Definition
A.ACCESS.MANAGED	The TOE is located in a restricted or monitored environment that provides protection from unmanaged access to the physical components and data interfaces of the TOE.
A.USER.TRAINING	TOE Users are aware of the security policies and procedures of their organization and are trained and competent to follow those policies and procedures.
A.ADMIN.TRAINING	Administrators are aware of the security policies and procedures of their organization, are trained and competent to follow the manufacturer's guidance and documentation, and correctly configure and operate the TOE in accordance with those policies and procedures.
A.ADMIN.TRUST	Administrators do not use their privileged access rights for malicious purposes.

#### 4. Security Objectives

本章は、TOE セキュリティ対策方針、運用環境のセキュリティ対策方針、及びセキュリティ対策方針根拠を記す。

##### 4.1. Security Objectives for the TOE

This section describes the Security Objectives that the TOE shall fulfill.

**表 4-1. Security Objectives for the TOE**

Objective	Definition
O.DOC.NO_DIS	The TOE shall protect User Document Data from unauthorized disclosure.
O.DOC.NO_ALT	The TOE shall protect User Document Data from unauthorized alteration.
O.FUNC.NO_ALT	The TOE shall protect User Function Data from unauthorized alteration.
O.PROT.NO_ALT	The TOE shall protect TSF Protected Data from unauthorized alteration.
O.CONF.NO_DIS	The TOE shall protect TSF Confidential Data from unauthorized disclosure.
O.CONF.NO_ALT	The TOE shall protect TSF Confidential Data from unauthorized alteration.
O.USER.AUTHORIZED	The TOE shall require identification and authentication of Users and shall ensure that Users are authorized in accordance with security policies before allowing them to use the TOE.
O.INTERFACE.MANAGED	The TOE shall manage the operation of external interfaces in accordance with security policies.
O.SOFTWARE.VERIFIED	The TOE shall provide procedures to self-verify executable code in the TSF.
O.AUDIT.LOGGED	The TOE shall create and maintain a log of TOE use and security-relevant events and prevent its unauthorized disclosure or alteration.
O.AUDIT_STORAGE.PROTECTED	The TOE shall ensure that audit records are protected from unauthorized access, deletion and modifications.
O.AUDIT_ACCESS.AUTHORIZED	The TOE shall ensure that audit records can be accessed in order to detect potential security violations, and only by authorized persons.

##### 4.2. Security Objectives for the IT environment

This section describes the Security Objectives that must be fulfilled by IT methods in the IT environment of the TOE.

**表 4-2. Security Objectives for the IT environment**

Objective	Definition
OE.INTERFACE.MANAGED	The IT environment shall provide protection from unmanaged access to TOE external interfaces.

#### 4.3. Security Objectives for the non-IT environment

This section describes the Security Objectives that must be fulfilled by non-IT methods in the non-IT environment of the TOE.

**表 4-3. Security Objectives for the non-IT environment**

Objective	Definition
OE.PHISICAL.MANAGED	The TOE shall be placed in a secure or monitored area that provides protection from unmanaged physical access to the TOE.
OE.USER.AUTHORIZED	The TOE Owner shall grant permission to Users to be authorized to use the TOE according to the security policies and procedures of their organization.
OE.USER.TRAINED	The TOE Owner shall ensure that Users are aware of the security policies and procedures of their organization and have the training and competence to follow those policies and procedures.
OE.ADMIN.TRAINED	The TOE Owner shall ensure that TOE Administrators are aware of the security policies and procedures of their organization; have the training, competence, and time to follow the manufacturer's guidance and documentation; and correctly configure and operate the TOE in accordance with those policies and procedures.
OE.ADMIN.TRUSTED	The TOE Owner shall establish trust that TOE Administrators will not use their privileged access rights for malicious purposes.
OE.AUDIT.REVIEWED	The TOE Owner shall ensure that audit logs are reviewed at appropriate intervals for security violations or unusual patterns of activity.

#### 4.4. Security Objectives rationale

This section demonstrates that each threat, organizational security policy, and assumption are mitigated by at least one security objective for the TOE, and that those Security Objectives counter the threats, enforce the policies, and uphold the assumptions.

表 4-4. Completeness of Security Objectives

	O.DOC.NO_DIS	O.DOC.NO_ALT	O.FUNC.NO_ALT	O.PROT.NO_ALT	O.CONF.NO_DIS	O.CONF.NO_ALT	O.USER.AUTHORIZED	O.INTERFACE.MANAGED	O.SOFTWARE.VERIFIED	O.AUDIT.LOGGED	O.AUDIT_STORAGE.PROTECTED	O.AUDIT_ACCESS.AUTHORIZED	OE.INTERFACE.MANAGED	OE.PHYSICAL.MANAGED	OE.USER.AUTHORIZED	OE.USER.TRAINED	OE.ADMIN.TRAINED	OE.ADMIN.TRUSTED	OE.AUDIT.REVIEWED
T.DOC.DIS	✓						✓								✓				
T.DOC.ALT		✓					✓								✓				
T.FUNC.ALT			✓				✓								✓				
T.PROT.ALT				✓			✓								✓				
T.CONF.DIS					✓		✓								✓				
T.CONF.ALT						✓	✓								✓				
P.USER.AUTHORIZATION							✓								✓				
P.SOFTWARE.VERIFICATION								✓											
P.AUDIT.LOGGING									✓	✓	✓								✓
P.INTERFACE.MANAGEMENT								✓					✓						
A.ACCESS.MANAGED													✓						
A.USER.TRAINING															✓				
A.ADMIN.TRAINING																✓			
A.ADMIN.TRUST																	✓		

表 4-5. Sufficiency of Security Objectives

Threats, policies, and assumptions	Summary	Objectives and rationale
T.DOC.DIS	User Document Data may be disclosed to unauthorized persons.	O.DOC.NO_DIS protects D.DOC from unauthorized disclosure.
		O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization.
		OE.USER.AUTHORIZED establishes responsibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.

T.DOC.ALT	User Document Data may be altered by unauthorized persons.	O.DOC.NO_ALT protects D.DOC from unauthorized alteration.
		O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization.
		OE.USER.AUTHORIZED establishes responsibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.
T.FUNC.ALT	User Function Data may be altered by unauthorized persons.	O.FUNC.NO_ALT protects D.FUNC from unauthorized alteration.
		O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization.
		OE.USER.AUTHORIZED establishes responsibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.
T.PROT.ALT	TSF Protected Data may be altered by unauthorized persons.	O.PROT.NO_ALT protects D.PROT from unauthorized alteration.
		O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization.
		OE.USER.AUTHORIZED establishes responsibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.
T.CONF.DIS	TSF Confidential Data may be disclosed to unauthorized persons.	O.CONF.NO_DIS protects D.CONF from unauthorized disclosure.
		O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization.
		OE.USER.AUTHORIZED establishes responsibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.
T.CONF.ALT	TSF Confidential Data may be altered by unauthorized persons.	O.CONF.NO_ALT protects D.CONF from unauthorized alteration.
		O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization.
		OE.USER.AUTHORIZED establishes res

		possibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.
P.USER.AUTHORIZATION	Users will be authorized to use the TOE.	<p>O.USER.AUTHORIZED establishes user identification and authentication as the basis for authorization to use the TOE.</p> <p>OE.USER.AUTHORIZED establishes responsibility of the TOE Owner to appropriately grant authorization.</p>
P.SOFTWARE.VERIFICATION	Procedures will exist to self-verify executable code in the TSF.	O.SOFTWARE.VERIFIED provides procedures to self-verify executable code in the TSF.
P.AUDIT.LOGGING	An audit trail of TOE use and security-relevant events will be created, maintained, protected, and reviewed.	<p>O.AUDIT.LOGGED creates and maintains a log of TOE use and security-relevant events and prevents unauthorized disclosure or alteration.</p> <p>O.AUDIT_STORAGE.PROTECTED protects audit records from unauthorized access, deletion and modifications.</p> <p>O.AUDIT_ACCESS.AUTHORIZED provides appropriate access to audit records only by authorized persons.</p> <p>OE.AUDIT.REVIEWED establishes responsibility of the TOE Owner to ensure that audit logs are appropriately reviewed.</p>
P.INTERFACE.MANAGEMENT	Operation of external interfaces will be controlled by the TOE and its IT environment.	<p>O.INTERFACE.MANAGED manages the operation of external interfaces in accordance with security policies.</p> <p>OE.INTERFACE.MANAGED establishes a protected environment for TOE external interfaces.</p>
A.ACCESS.MANAGED	The TOE environment provides protection from unmanaged access to the physical components and data interfaces of the TOE.	OE.PHYSICAL.MANAGED establishes a protected physical environment for the TOE.
A.USER.TRAINING	Administrators are aware of	OE.USER.TRAINED establishes respons

	and trained to follow security policies and procedures.	ibility of the TOE Owner to provide appropriate User training.
A.ADMIN.TRAINING	TOE Users are aware of and trained to follow security policies and procedures.	OE.ADMIN.TRAINED establishes responsibility of the TOE Owner to provide appropriate Administrator training.
A.ADMIN.TRUST	Administrators do not use their privileged access rights for malicious purposes.	OE.ADMIN.TRUSTED establishes responsibility of the TOE Owner to have a trusted relationship with Administrators.

## 5. Extended components definition

This Security Target defines components that are extensions to Common Criteria 3.1 Revision 2, Part 2. These extended components are defined in the Security Target but are used in SFR Packages and, therefore, are employed only in TOEs whose STs conform to those SFR Packages.

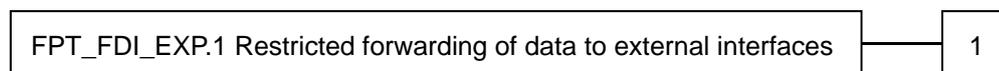
### 5.1. FPT\_FDI\_EXP Restricted forwarding of data to external interfaces

#### Family behavior:

This family defines requirements for the TSF to restrict direct forwarding of information from one external interface to another external interface.

Many products receive information on specific external interfaces and are intended to transform and process this information before it is transmitted on another external interface. However, some products may provide the capability for attackers to misuse external interfaces to violate the security of the TOE or devices that are connected to the TOE's external interfaces. Therefore, direct forwarding of unprocessed data between different external interfaces is forbidden unless explicitly allowed by an authorized administrative role. The family FPT\_FDI\_EXP has been defined to specify this kind of functionality.

#### Component leveling:



FPT\_FDI\_EXP.1 Restricted forwarding of data to external interfaces provides for the functionality to require TSF controlled processing of data received over defined external interfaces before these data are sent out on another external interface. Direct forwarding of data from one external interface to another one requires explicit allowance by an authorized administrative role.

#### Management: FPT\_FDI\_EXP.1

The following actions could be considered for the management functions in FMT:

- a) Definition of the role(s) that are allowed to perform the management activities
- b) Management of the conditions under which direct forwarding can be allowed by an administrative role
- c) Revocation of such an allowance

#### Audit: FPT\_FDI\_EXP.1

The following actions should be auditable if FAU\_GEN Security Audit Data Generation is included in the PP/ST:

There are no auditable events foreseen.

#### Rationale:

Quite often, a TOE is supposed to perform specific checks and process data received on one external interface before such (processed) data are allowed to be transferred to another external interface. Examples are firewall systems but also other systems that require a specific work flow for the incoming data before it can be transferred. Direct forwarding of such data (i.e., without processing the data first) between different external interfaces is therefore a function that—if allowed at all—can only be allowed by an authorized role.

It has been viewed as useful to have this functionality as a single component that allows specifying the property to disallow direct forwarding and require that only an authorized role can allow this. Since this is a function that is quite common for a number of products, it has been viewed as useful to define an extended component.

The Common Criteria defines attribute-based control of user data flow in its FDP class. However, in this Security Target, the authors needed to express the control of both user data and TSF data flow using administrative control instead of attribute-based control. It was found that using FDP\_IFF and FDP\_IFC for this purpose resulted in SFRs that were either too implementation-specific for a Security Target or too unwieldy for refinement in a Security Target. Therefore, the authors decided to define an extended component to address this functionality.

This extended component protects both user data and TSF data, and it could therefore be placed in either the FDP or the FPT class. Since its purpose is to protect the TOE from misuse, the authors believed that it was most appropriate to place it in the FPT class. It did not fit well in any of the existing families in either class, and this led the authors to define a new family with just one member.

#### **FPT\_FDI\_EXP.1 Restricted forwarding of data to external interfaces**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FMT\_SMF.1 Specification of Management Functions

FMT\_SMR.1 Security roles

**FPT\_FDI\_EXP.1.1** The TSF shall provide the capability to restrict data received on [assignment: *list of external interfaces*] from being forwarded without further processing by the TSF to [assignment: *list of external interfaces*].

## 6. Security Requirements

本章は、セキュリティ機能要件、セキュリティ保証要件、及びセキュリティ要件根拠を記す。

### 6.1. Security Functional Requirements

本章は、各セキュリティ機能要件の操作結果を記す。

#### 6.1.1. Class FAU: Security audit

##### FAU\_GEN.1 Audit data generation

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FPT\_STM.1 Reliable time stamps

FAU\_GEN.1.1 The TSF shall be able to generate an audit record of the following auditable events:

- Start-up and shutdown of the audit functions;
- All auditable events for the [selection, choose one of: *minimum, basic, detailed, not specified*] level of audit; and
- **all Auditable Events as each is defined for its Audit Level (if one is specified) for the Relevant SFR in 表 6-1;** [assignment: *other specifically defined auditable events*]

[selection, choose one of: *minimum, basic, detailed, not specified*]

- not specified

[assignment: *other specifically defined auditable events*]

- なし

表 6-1. 監査対象事象

監査対象事象	関連 SFR	監査レベル	追加情報	詳細
認証メカニズムの使用に失敗 認証メカニズムの使用に成功	FIA_UAU.1	基本	なし	ログオン操作の失敗 ログオン操作の成功
識別メカニズムの使用に失敗 識別メカニズムの使用に成功	FIA_UID.1	基本	利用者識別の試行 (該当する場合)	ログオン操作の失敗(利用者識別情報を含む) ログオン操作の成功
管理機能の使用	FMT_SMF.1	最小	なし	管理機能(表 6-11 参照)の記録
役割の一部をなす利用者グループの改変	FMT_SMR.1	最小	なし	改変はないため記録なし
時間の変更	FPT_STM.1	最小	なし	時刻の変更
高信頼チャネル機能の失敗	FTP_ITC.1	最小	通信先 IP アドレス	IPsec 通信の失敗

FAU\_GEN.1.2 The TSF shall record within each audit record at least the following information:

- Date and time of the event, type of event, subject identity (if applicable), and the outcome

(success or failure) of the event; and

- For each audit event type, based on the auditable event definitions of the functional components included in the PP/ST, **for each Relevant SFR listed in 表 6-1: (1) the information as defined by its Audit Level (if one is specified), and (2) all Additional Information (if any is required);** [assignment: *other audit relevant information*]

[assignment: *other audit relevant information*]

- なし

## **FAU\_GEN.2 User identity association**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FAU\_GEN.1 Audit data generation  
FIA\_UID.1 Timing of identification

**FAU\_GEN.2.1** For audit events resulting from actions of identified users, the TSF shall be able to associate each auditable event with the identity of the user that caused the event.

## **FAU\_SAR.1 Audit review**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FAU\_GEN.1 Audit data generation

**FAU\_SAR.1.1** The TSF shall provide [assignment: *authorised users*] with the capability to read [assignment: *list of audit information*] from the audit records.

[assignment: *authorised users*]

- 管理者

[assignment: *list of audit information*]

- 表 6-1 に示す監査対象事象

**FAU\_SAR.1.2** The TSF shall provide the audit records in a manner suitable for the user to interpret the information.

## **FAU\_SAR.2 Restricted audit review**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FAU\_SAR.1 Audit review

**FAU\_SAR.2.1** The TSF shall prohibit all users read access to the audit records, except those users that have been granted explicit read-access.

## **FAU\_STG.1 Protected audit trail storage**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies: FAU\_GEN.1 Audit data generation**

**FAU\_STG.1.1** The TSF shall protect the stored audit records in the audit trail from unauthorized deletion.

**FAU\_STG.1.2** The TSF shall be able to [selection, choose one of: *prevent, detect*] unauthorized modifications to the stored audit records in the audit trail.

[selection, choose one of: *prevent, detect*]

- prevent

**FAU\_STG.4 Prevention of audit data loss**

**Hierarchical to: FAU\_STG.3 Action in case of possible audit data loss**

**Dependencies: FAU\_STG.1 Protected audit trail storage**

**FAU\_STG.4.1** The TSF shall [selection, choose one of: “*ignore audited events*”, “*prevent audited events, except those taken by the authorised user with special rights*”, “*overwrite the oldest stored audit records*”] and [assignment: *other actions to be taken in case of audit storage failure*] if the audit trail is full.

[selection, choose one of: “*ignore audited events*”, “*prevent audited events, except those taken by the authorised user with special rights*”, “*overwrite the oldest stored audit records*”]

- overwrite the oldest stored audit records

[assignment: *other actions to be taken in case of audit storage failure*]

- なし

## 6.1.2.Class FDP: User data protection

**FDP\_ACC.1(a) Subset access control**

**Hierarchical to: No other components**

**Dependencies: FDP\_ACF.1 Security attribute based access control**

**FDP\_ACC.1.1(a)** The TSF shall enforce the **Common Access Control SFP in 表 6-2 on the list of users as subjects, objects, and operations among subjects and objects covered by the Common Access Control SFP in 表 6-2.**

**FDP\_ACC.1(b) Subset access control**

**Hierarchical to: No other components**

**Dependencies: FDP\_ACF.1 Security attribute based access control**

**FDP\_ACC.1.1(b)** The TSF shall enforce the **TOE Function Access Control SFP in 表 6-3 on users as subjects, TOE functions as objects, and the right to use the functions as operations.**

**FDP\_ACF.1(a) Security attribute based access control**

**Hierarchical to: No other components**

**Dependencies: FDP\_ACC.1 Subset access control**

**FMT\_MSA.3 Static attribute initialisation**

**FDP\_ACF.1.1(a)** The TSF shall enforce the **Common Access Control SFP in 表 6-2** to objects based on the following: **the list of users as subjects and objects controlled under the Common Access Control SFP in 表 6-2, and for each, the indicated security attributes in 表 6-2.**

**FDP\_ACF.1.2(a)** The TSF shall enforce the following rules to determine if an operation among controlled subjects and controlled objects is allowed: **rules specified in the Common Access Control SFP in 表 6-2 governing access among controlled users as subjects and controlled objects using controlled operations on controlled objects.**

**表 6-2. 制御されたサブジェクトとオブジェクト間の操作を制御する規則**

オブジェクト	セキュリティ属性	操作	サブジェクト	セキュリティ属性	操作を制御する規則
D.DOC	一般利用者 User ID 文書情報属性 (プリント)	Read Delete	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用機能リスト (PRT)	利用機能リストに「プリント機能 (PRT)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「プリント」かつサブジェクトの一般利用者 User IDと一致するオブジェクトに対してのみ操作を許可する
	一般利用者 User ID 文書情報属性 (スキャン)	Read Delete	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用機能リスト (SCN)	利用機能リストに「スキャン機能 (SCN)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「スキャン」かつサブジェクトの一般利用者 User IDと一致するオブジェクトに対してのみ操作を許可する
	一般利用者 User ID 文書情報属性 (コピー)	Read Delete	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用機能リスト (CPY)	利用機能リストに「コピー機能 (CPY)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「コピー」かつサブジェクトの一般利用者 User IDと一致するオブジェクトに対してのみ操作を許可する
	文書情報属性 (FAX 受信)	Read Delete	U.NORMAL	利用機能リスト (FAXIN)	利用機能リストに「FAX 受信機能 (FAXIN)」及び「文

	(文書の保存と取り出し)			(DSR)	書の保存と取り出し機能 (DSR)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」のオブジェクトに対してのみ操作を許可する
	文書情報属性 (FAX 送信) (文書の保存と取り出し)	Read Delete	U.NORMAL	利用機能リスト (FAXOUT) (DSR)	利用機能リストに「FAX 送信機能 (FAXOUT)」及び「文書の保存と取り出し機能 (DSR)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」のオブジェクトに対してのみ操作を許可する
D.FUNC	一般利用者 User ID 文書情報属性 (プリント)	Delete	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用機能リスト (PRT)	利用機能リストに「プリント機能 (PRT)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「プリント」かつサブジェクトの一般利用者 User IDと一致するオブジェクトに対してのみ操作を許可する
		Modify	U.NORMAL		操作を許可しない
	一般利用者 User ID 文書情報属性 (スキャン)	Delete	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用機能リスト (SCN)	利用機能リストに「スキャン機能 (SCN)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「スキャン」かつサブジェクトの一般利用者 User IDと一致するオブジェクトに対してのみ操作を許可する
		Modify	U.NORMAL		操作を許可しない
	一般利用者 User ID 文書情報属性 (コピー)	Delete	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用機能リスト (CPY)	利用機能リストに「コピー機能 (CPY)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「コピー」かつサブ

					ジェットの一般利用者 User IDと一致するオブジェクトに対してのみ操作を許可する
		Modify	U.NORMAL		操作を許可しない
	文書情報属性 (FAX 受信) (文書の保存と取り出し)	Delete	U.NORMAL	利用機能リスト (FAXIN) (DSR)	利用機能リストに「FAX 受信機能 (FAXIN)」及び「文書の保存と取り出し機能 (DSR)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」のオブジェクトに対してのみ操作を許可する
		Modify	U.NORMAL		操作を許可しない
	文書情報属性 (FAX 送信) (文書の保存と取り出し)	Delete	U.NORMAL	利用機能リスト (FAXOUT) (DSR)	利用機能リストに「FAX 送信機能 (FAXOUT)」及び「文書の保存と取り出し機能 (DSR)」が付与されるサブジェクトに対して、文書情報属性が「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」のオブジェクトに対してのみ操作を許可する
		Modify	U.NORMAL		操作を許可しない

**FDP\_ACF.1.3(a)** The TSF shall explicitly authorise access of subjects to objects based on the following additional rules: [assignment: rules, based on security attributes, that explicitly authorize access of subjects to objects].

[assignment: rules, based on security attributes, that explicitly authorize access of subjects to objects]

- U.ADMINISTRATOR に対して、文書情報属性が「プリント」の D.DOC に対する操作「Delete」を許可する。
- U.ADMINISTRATOR に対して、文書情報属性が「スキャン」、「コピー」の D.DOC に対する操作「Read」及び「Delete」を許可する
- U.ADMINISTRATOR に対して、文書情報属性が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」、「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」の D.DOC に対する操作「Read」及び「Delete」を許可する

- U.ADMINISTRATOR に対して、文書情報属性が「プリント」、「スキャン」、「コピー」の D.FUNC に対する操作「Delete」を許可する
- U.ADMINISTRATOR に対して、文書情報属性が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」、「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」の D.FUNC に対する操作「Delete」を許可する

**FDP\_ACF.1.4(a)** The TSF shall explicitly deny access of subjects to objects based on the [assignment: *rules, based on security attributes, that explicitly deny access of subjects to objects*].

[assignment: *rules, based on security attributes, that explicitly deny access of subjects to objects*]

- U.ADMINISTRATOR に対して、文書情報属性が「プリント」、「スキャン」、「コピー」、「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」、「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」の D.FUNC に対する操作「Modify」を許可しない

**FDP\_ACF.1(b) Security attribute based access control**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FDP\_ACC.1 Subset access control

FMT\_MSA.3 Static attribute initialisation

**FDP\_ACF.1.1(b)** The TSF shall enforce the **TOE Function Access Control SFP** to objects based on the following: **users and** [assignment: *list of TOE functions and the security attribute(s) used to determine the TOE Function Access Control SFP*].

[assignment: *list of TOE functions and the security attribute(s) used to determine the TOE Function Access Control SFP*]

- 表 6-3 参照

**FDP\_ACF.1.2(b)** The TSF shall enforce the following rules to determine if an operation among controlled subjects and controlled objects is allowed: [selection: *the user is explicitly authorized by U.ADMINISTRATOR to use a function, a user that is authorized to use the TOE is automatically authorized to use the functions* [assignment: *list of functions*], [assignment: *other conditions*]].

[selection: *the user is explicitly authorized by U.ADMINISTRATOR to use a function, a user that is authorized to use the TOE is automatically authorized to use the functions* [assignment: *list of functions*], [assignment: *other conditions*]]

- [assignment: *other conditions*]

[assignment: *other conditions*]

- 表 6-3 参照

表 6-3. 制御されたサブジェクトとオブジェクト間の操作を制御する規則

オブジェクト	セキュリティ属性	操作	サブジェクト	セキュリティ属性	操作を制御する規則
MFP 機能	機能種別 (プリント属性)	ジョブの実行 ジョブの削除	U.NORMAL	利用機能リスト (PRT)	利用機能リストに「プリント機能 (PRT)」が付与されるサブジェクトに対して、操作を許可する
	機能種別 (スキャン属性)	ジョブの実行 ジョブの削除	U.NORMAL	利用機能リスト (SCN)	利用機能リストに「スキャン機能 (SCN)」が付与されるサブジェクトに対して、操作を許可する
	機能種別 (コピー属性)	ジョブの実行 ジョブの削除	U.NORMAL	利用機能リスト (CPY)	利用機能リストに「コピー機能 (CPY)」が付与されるサブジェクトに対して、操作を許可する
	機能種別 (FAX 属性)	ジョブの実行 ジョブの削除	U.NORMAL	利用機能リスト (FAXIN, FAXOUT)	利用機能リストに「FAX 受信機能 (FAXIN)」及び「FAX 送信機能 (FAXOUT)」が付与されるサブジェクトに対して、操作を許可する
	機能種別 (文書の保存と 取り出し属性)	ジョブの実行 ジョブの削除	U.NORMAL	利用機能リスト (DSR)	利用機能リストに「文書の保存と取り出し機能 (DSR)」が付与されるサブジェクトに対して、操作を許可する

**FDP\_ACF.1.3(b)** The TSF shall explicitly authorise access of subjects to objects based on the following additional rules: [assignment: rules, based on security attributes, that explicitly authorize access of subjects to objects].

[assignment: rules, based on security attributes, that explicitly authorise access of subjects to objects]

- U.ADMINISTRATOR に対して、機能種別が「プリント属性」の MFP 機能に対する操作「ジョブの削除」を許可する
- U.ADMINISTRATOR に対して、機能種別が「スキャン属性」、「コピー属性」、「FAX 属性」、または「文書の保存と取り出し属性」の MFP 機能に対する操作「ジョブの実行」及び「ジョブ

の削除」を許可する

**FDP\_ACF.1.4(b)** The TSF shall explicitly deny access of subjects to objects based on the [assignment: *rules, based on security attributes, that explicitly deny access of subjects to objects*].

[assignment: *rules, based on security attributes, that explicitly deny access of subjects to objects*]

- なし

**FDP\_RIP.1** **Subset residual information protection**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FDP\_RIP.1.1** The TSF shall ensure that any previous information content of a resource is made unavailable upon the [selection: *allocation of the resource to, deallocation of the resource from*] the following objects: **D.DOC**, [assignment: *list of objects*].

[selection: *allocation of the resource to, deallocation of the resource from*]

- deallocation of the resource from

[assignment: *list of objects*]

- なし

6.1.3.Class FIA: Identification and authentication

**FIA\_AFL.1** **Authentication failure handling**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** **FIA\_UAU.1** Timing of authentication

**FIA\_AFL.1.1** The TSF shall detect when [selection: *[assignment: positive integer number], an administrator configurable positive integer within [assignment: range of acceptable values]*] unsuccessful authentication attempts occur related to [assignment: *list of authentication events*].

[selection: *[assignment: positive integer number], an administrator configurable positive integer within [assignment: range of acceptable values]*]

- [assignment: positive integer number]

[assignment: *positive integer number*]

- 1

[assignment: *list of authentication events*]

- 管理者による操作パネルからのログオン

- 一般利用者による操作パネルからのログオン

- 管理者による Web Config からのログオン

- パスワード付き印刷ジョブ受付時の認証

**FIA\_AFL.1.2** When the defined number of unsuccessful authentication attempts has been [selection: *met, surpassed*], the TSF shall [assignment: *list of actions*].

[selection: *met, surpassed*]

- met

[assignment: *list of actions*]

- 表 6-4 参照

**表 6-4. アクションのリスト**

ログオンパターン	認証不成功時のアクション
管理者による操作パネルからのログオン	0.6 秒間、当該管理者をロックアウトする
一般利用者による操作パネルからのログオン	0.6 秒間、当該一般利用者をロックアウトする
管理者による Web Config からのログオン	1 秒間、当該管理者をロックアウトする
パスワード付き印刷ジョブ受付時の認証	1 秒間、当該一般利用者をロックアウトする

**FIA\_ATD.1** **User attribute definition**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FIA\_ATD.1.1** The TSF shall maintain the following list of security attributes belonging to individual users: [assignment: *list of security attributes*].

[assignment: *list of security attributes*]

- 表 6-5 参照

**表 6-5. セキュリティ属性のリスト**

利用者	セキュリティ属性
U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用者役割 利用機能リスト
U.ADMINISTRATOR	利用者役割

**FIA\_SOS.1** **Verification of secrets**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FIA\_SOS.1.1** The TSF shall provide a mechanism to verify that secrets (一般利用者パスワード、管理者パスワード) meet [assignment: *a defined quality metric*].

[assignment: *a defined quality metric*]

- 桁数: 8 桁以上 (最大 20 桁まで) とすること
- 文字種: 必ず、以下の文字を 1 文字以上含むこと
  - ・ 英大文字
  - ・ 英小文字
  - ・ 数字
  - ・ 記号 (!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>@[¥]^\_`{|}~ )

## FIA\_UAU.1 Timing of authentication

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FIA\_UID.1 Timing of identification

**FIA\_UAU.1.1** The TSF shall allow [assignment: *list of TSF-mediated actions that do not conflict with access-controlled Functions of the TOE*] on behalf of the user to be performed before the user is authenticated.

[assignment: *list of TSF-mediated actions that do not conflict with access-controlled Functions of the TOE*]

- 操作パネルでのプリンター情報の表示
- 操作パネルからのプリンター情報の印刷
- 操作パネルでのネットワーク情報の表示
- 操作パネルからのネットワーク情報の印刷
- 操作パネルでのジョブ一覧の表示
- 操作パネルでのヘルプの表示
- Web Config でのプリンター情報の表示
- Web Config でのネットワーク情報の表示
- 操作パネルでの FAX 情報の表示
- 操作パネルからの FAX 情報の印刷
- 操作パネルからのプリンターメンテナンス機能の実行
- プリンタードライバーでのプリンターステータスの表示

**FIA\_UAU.1.2** The TSF shall require each user to be successfully authenticated before allowing any other TSF-mediated actions on behalf of that user.

## FIA\_UAU.7 Protected authentication feedback

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FIA\_UAU.1 Timing of authentication

**FIA\_UAU.7.1** The TSF shall provide only [assignment: *list of feedback*] to the user while the authentication is in progress.

[assignment: *list of feedback*]

- 表 6-6 参照

表 6-6. フィードバックのリスト

アクション	フィードバック
管理者による操作パネルからのログオン	入力回数分の * 文字
一般利用者による操作パネルからのログオン	入力回数分の * 文字
管理者による Web Config からのログオン	入力回数分のマスク文字 ※マスクする文字種はブラウザーに依存する

#### FIA\_UID.1 Timing of identification

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FIA\_UID.1.1** The TSF shall allow [assignment: *list of TSF-mediated actions that do not conflict with access-controlled Functions of the TOE*] on behalf of the user to be performed before the user is identified.

[assignment: *list of TSF-mediated actions that do not conflict with access-controlled Functions of the TOE*]

- 操作パネルでのプリンター情報の表示
- 操作パネルからのプリンター情報の印刷
- 操作パネルでのネットワーク情報の表示
- 操作パネルからのネットワーク情報の印刷
- 操作パネルでのジョブ一覧の表示
- 操作パネルでのヘルプの表示
- Web Config でのプリンター情報の表示
- Web Config でのネットワーク情報の表示
- 操作パネルでの FAX 情報の表示
- 操作パネルからの FAX 情報の印刷
- 操作パネルからのプリンターメンテナンス機能の実行
- プリンタードライバでのプリンターステータスの表示

**FIA\_UID.1.2** The TSF shall require each user to be successfully identified before allowing any other TSF-mediated actions on behalf of that user.

#### FIA\_USB.1 User-subject binding

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies: FIA\_ATD.1 User attribute definition**

**FIA\_USB.1.1** The TSF shall associate the following user security attributes with subjects acting on the behalf of that user: [assignment: *list of user security attributes*].

[assignment: *list of user security attributes*]

- 表 6-5 参照

**FIA\_USB.1.2** The TSF shall enforce the following rules on the initial association of user security attributes with the subjects acting on behalf of users: [assignment: *rules for the initial association of attributes*].

[assignment: *rules for the initial association of attributes*]

- なし

**FIA\_USB.1.3** The TSF shall enforce the following rules governing changes to the user security attributes with the subjects acting on behalf of users: [assignment: *rules for the changing of attributes*].

[assignment: *rules for the changing of attributes*]

- なし

## 6.1.4.Class FMT: Security management

**FMT\_MSA.1(a) Management of security attributes**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** [FDP\_ACC.1 Subset access control, or  
FDP\_IFC.1 Subset information flow control]

FMT\_SMR.1 Security roles

FMT\_SMF.1 Specification of Management Functions

**FMT\_MSA.1.1(a)** The TSF shall enforce the **Common Access Control SFP in 表 6-2**, [assignment: *access control SFP(s), information flow control SFP(s)*] to restrict the ability to [selection: *change\_default, query, modify, delete, [assignment: other operations]*] the security attributes [assignment: *list of security attributes*] to [assignment: *the authorized identified roles*].

[assignment: *access control SFP(s), information flow control SFP(s)*]

- なし

[selection: *change\_default, query, modify, delete, [assignment: other operations]*]

- 表 6-7 参照

- [assignment: *other operations*]

[assignment: *other operations*]

- 表 6-7 参照

[assignment: *list of security attributes*]

- 表 6-7 参照

[assignment: *the authorized identified roles*]

- 表 6-7 参照

**表 6-7. セキュリティ属性、操作、及び操作を許可する利用者役割**

セキュリティ属性	操作	操作を許可する利用者役割
一般利用者 User ID	【選択した操作】query, delete	管理者
	【追加した操作】新規作成	
利用者役割	【選択した操作】なし	なし
	【追加した操作】なし	
利用機能リスト	【選択した操作】query, modify	管理者
	【追加した操作】なし	
文書情報属性	【選択した操作】なし	なし
	【追加した操作】なし	

#### FMT\_MSA.1(b) Management of security attributes

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** [FDP\_ACC.1 Subset access control, or  
FDP\_IFC.1 Subset information flow control]

FMT\_SMR.1 Security roles

FMT\_SMF.1 Specification of Management Functions

**FMT\_MSA.1.1(b)** The TSF shall enforce the TOE Function Access Control SFP in 表 6-3, [assignment: *access control SFP(s), information flow control SFP(s)*] to restrict the ability to [selection: *change\_default, query, modify, delete, [assignment: other operations]*] the security attributes [assignment: *list of security attributes*] to [assignment: *the authorised identified roles*].

[assignment: *access control SFP(s), information flow control SFP(s)*]

- なし

[selection: *change\_default, query, modify, delete, [assignment: other operations]*]

- 表 6-8 参照
- [assignment: *other operations*]

[assignment: *other operations*]

- 表 6-8 参照

[assignment: *list of security attributes*]

- 表 6-8 参照

[assignment: *the authorised identified roles*]

- 表 6-8 参照

表 6-8. セキュリティ属性、操作、及び操作を許可する利用者役割

セキュリティ属性	操作	操作を許可する利用者役割
利用者役割	【選択した操作】なし	なし
	【追加した操作】なし	
利用機能リスト	【選択した操作】query, modify	管理者
	【追加した操作】なし	
機能種別	【選択した操作】なし	なし
	【追加した操作】なし	

**FMT\_MSA.3(a) Static attribute initialisation****Hierarchical to:** No other components**Dependencies:** FMT\_MSA.1 Management of security attributes

FMT\_SMR.1 Security roles

**FMT\_MSA.3.1(a)** The TSF shall enforce the **Common Access Control SFP in 表 6-2**, [assignment: *access control SFP, information flow control SFP*] to provide [selection, choose one of: *restrictive, permissive, [assignment: other property]*] default values for security attributes that are used to enforce the SFP.

[assignment: *access control SFP, information flow control SFP*]

- なし

[selection, choose one of: *restrictive, permissive, [assignment: other property]*]

- restrictive

**FMT\_MSA.3.2(a)** The TSF shall allow the [assignment: *the authorized identified roles*] to specify alternative initial values to override the default values when an object or information is created.

[assignment: *the authorized identified roles*]

- nobody

**FMT\_MSA.3(b) Static attribute initialisation****Hierarchical to:** No other components**Dependencies:** FMT\_MSA.1 Management of security attributes

FMT\_SMR.1 Security roles

**FMT\_MSA.3.1(b)** The TSF shall enforce the **TOE Function Access Control Policy in 表 6-3**, [assignment: *access control SFP, information flow control SFP*] to provide [selection, choose one of: *restrictive, permissive, [assignment: other property]*] default values for security attributes that are used to enforce the SFP.

[assignment: *access control SFP, information flow control SFP*]

- なし

[selection, *choose one of: restrictive, permissive, [assignment: other property]*]

- restrictive

**FMT\_MSA.3.2(b)** The TSF shall allow the [assignment: *the authorized identified roles*] to specify alternative initial values to override the default values when an object or information is created.

[assignment: *the authorized identified roles*]

- nobody

### FMT\_MTD.1 Management of TSF Data

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FMT\_SMR.1 Security roles

FMT\_SMF.1 Specification of Management Functions

**FMT\_MTD.1.1(a)** The TSF shall restrict the ability to [selection: *change\_default, query, modify, delete, clear, [assignment: other operations]*] the [assignment: *list of TSF Data*] to [selection, choose one of: *Nobody, [selection: U.ADMINISTRATOR, [assignment: the authorized identified roles except U.NORMAL]]*].

[selection: *change\_default, query, modify, delete, clear, [assignment: other operations]*]

- 表 6-9 参照

- [assignment: *other operations*]

[assignment: *other operations*]

- 表 6-9 参照

[assignment: *list of TSF Data*]

- 表 6-9 参照

[selection, choose one of: *Nobody, [selection: U.ADMINISTRATOR, [assignment: the authorized identified roles except U.NORMAL]]*]

- 表 6-9 参照

表 6-9. TSF データの管理

分類	TSF データ	操作	操作を許可する利用者役割
D.PROT	管理者 User ID	【選択した操作】なし	なし
		【追加した操作】なし	
	パスワードポリシー	【選択した操作】query, modify	管理者
		【追加した操作】なし	
	無操作タイマー設定	【選択した操作】query, modify	管理者

		【追加した操作】なし	
	管理者認証設定(操作パネル)	【選択した操作】query, modify 【追加した操作】なし	管理者
	利用者制限設定	【選択した操作】query, modify 【追加した操作】なし	管理者
	IPsec の設定	【選択した操作】query, modify 【追加した操作】なし	管理者
	時刻設定	【選択した操作】query, modify 【追加した操作】なし	管理者
	ネットワーク設定	【選択した操作】query, modify 【追加した操作】なし	管理者
	ファームウェアの完全性検証のためのハッシュ値	【選択した操作】なし 【追加した操作】なし	なし
D.CONF	管理者パスワード	【選択した操作】modify 【追加した操作】なし	管理者
		【追加した操作】新規作成	管理者
	メールサーバーやファイルサーバーなどの外装装置にアクセスするためのパスワード	【選択した操作】modify	管理者
		【追加した操作】新規作成	管理者
	監査ログ	【選択した操作】query	管理者
		【追加した操作】なし	管理者
	IPsec の事前共有鍵	【選択した操作】modify	管理者
		【追加した操作】なし	管理者

**FMT\_MTD.1.1(b)** The TSF shall restrict the ability to [selection: *change\_default, query, modify, delete, clear, [assignment: other operations]*] the [assignment: *list of TSF Data associated with a U.NORMAL or TSF Data associated with documents or jobs owned by a U.NORMAL*] to [selection, choose one of: *Nobody, [selection: U.ADMINISTRATOR, the U.NORMAL to whom such TSF Data are associated]*].

[selection: *change\_default, query, modify, delete, clear, [assignment: other operations]*]

- 表 6-10 参照

[assignment: *list of TSF Data associated with a U.NORMAL or TSF Data associated with documents or jobs owned by a U.NORMAL*]

- 表 6-10 参照

[selection, choose one of: *Nobody, [selection: U.ADMINISTRATOR, the U.NORMAL to whom such TSF Data are associated]*]

- 表 6-10 参照

表 6-10. TSF データの管理

分類	TSF データ	操作	操作を許可する利用者役割
D.PROT	一般利用者 User ID	【選択した操作】delete, query	管理者
		【追加した操作】新規作成	
	スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック	【選択した操作】delete, query	管理者
		【追加した操作】新規作成	
		【選択した操作】query	一般利用者
		【追加した操作】なし	
	ジョブステータスログ	【選択した操作】query	管理者
		【追加した操作】なし	
		【選択した操作】query	一般利用者
		【追加した操作】なし	
D.CONF	一般利用者パスワード	【選択した操作】delete	管理者
		【追加した操作】新規作成	

**FMT\_SMF.1 Specification of Management Functions****Hierarchical to:** No other components**Dependencies:** No dependencies

**FMT\_SMF.1.1** The TSF shall be capable of performing the following management functions: [assignment: *list of management functions to be provided by the TSF*].

[assignment: *list of management functions to be provided by the TSF*]

- 表 6-11 参照

表 6-11. 管理機能のリスト

管理機能
U.ADMINISTRATOR による「一般利用者 User ID」の登録・削除・参照
U.ADMINISTRATOR による「スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック」の登録・削除・参照
U.NORMAL による「スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック」の参照
U.ADMINISTRATOR による「ジョブステータスログ」の参照
U.NORMAL による「ジョブステータスログ」の参照
U.ADMINISTRATOR による「パスワードポリシー」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「無操作タイマー設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「管理者認証設定(操作パネル)」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「利用者制限設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「IPsec の設定」の参照・変更

U.ADMINISTRATOR による「時刻設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「ネットワーク設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「一般利用者パスワード」の登録・削除
U.ADMINISTRATOR による「管理者パスワード」の変更
U.ADMINISTRATOR による「メールサーバーやファイルサーバーなどの外装装置にアクセスするためのパスワード」の登録・変更
U.ADMINISTRATOR による「監査ログ」の参照
U.ADMINISTRATOR による「IPsec の事前共有鍵」の変更

#### FMT\_SMR.1 Security roles

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FIA\_UID.1 Timing of identification

**FMT\_SMR.1.1** The TSF shall maintain the roles U.ADMINISTRATOR, U.NORMAL, [selection: *Nobody*, [assignment: *the authorised identified roles*]].

[selection: *Nobody*, [assignment: *the authorised identified roles*]]

– Nobody

**FMT\_SMR.1.2** The TSF shall be able to associate users with roles, **except for the role “Nobody” to which no user shall be associated.**

#### 6.1.5.Class FPT: Protection of the TSF

##### FPT\_FDI\_EXP.1 Restricted forwarding of data to external interfaces

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** FMT\_SMF.1 Specification of Management Functions  
FMT\_SMR.1 Security roles

**FPT\_FDI\_EXP.1.1** The TSF shall provide the capability to restrict data received on **any external Interface** from being forwarded without further processing by the TSF to the TSF to **any Shared-medium Interface.**

##### FPT\_STM.1 Reliable time stamps

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FPT\_STM.1.1** The TSF shall be able to provide reliable time stamps.

##### FPT\_TST.1 TSF testing

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FPT\_TST.1.1** The TSF shall run a suite of self tests [selection: *during initial start-up, periodically during normal*

operation, at the request of the authorised user, at the conditions [assignment: conditions under which self test should occur]] to demonstrate the correct operation of [selection: [assignment: parts of TSF], the TSF].

[selection: during initial start-up, periodically during normal operation, at the request of the authorised user, at the conditions [assignment: conditions under which self test should occur]]

- during initial start-up

[selection: [assignment: parts of TSF], the TSF]

- [assignment: parts of TSF]

[assignment: parts of TSF]

- 自己テスト機能

**FPT\_TST.1.2** The TSF shall provide authorised users with the capability to verify the integrity of [selection: [assignment: parts of TSF], TSF Data].

[selection: [assignment: parts of TSF], TSF Data]

- [assignment: parts of TSF]

[assignment: parts of TSF]

- ファームウェアの完全性検証のためのハッシュ値

**FPT\_TST.1.3** The TSF shall provide authorised users with the capability to verify the integrity of stored TSF executable code.

#### 6.1.6.Class FTA: TOE access

**FTA\_SSL.3 TSF-initiated termination**

**Hierarchical to:** No other components

**Dependencies:** No dependencies

**FTA\_SSL.3.1** The TSF shall terminate an interactive session after a [assignment: time interval of user inactivity].

[assignment: time interval of user inactivity]

- 表 6-12 参照

**表 6-12. 利用者が非アクティブである時間間隔**

アクション	利用者が非アクティブである時間間隔
管理者による操作パネルからのログオン	「無操作タイマー設定」指定時間 (管理者により、10 秒から 240 分の範囲で指定可能)
一般利用者による操作パネルからのログオン	「無操作タイマー設定」指定時間 (管理者により、10 秒から 240 分の範囲で指定可能)

管理者による Web Config からのログオン	20 分
---------------------------	------

## 6.1.7.Class FTP: Trusted paths/channels

**FTP\_ITC.1 Inter-TSF trusted channel****Hierarchical to:** No other components**Dependencies:** No dependencies

**FTP\_ITC.1.1** The TSF shall provide a communication channel between itself and another trusted IT product that is logically distinct from other communication channels and provides assured identification of its end points and protection of the channel data from modification or disclosure.

**FTP\_ITC.1.2** The TSF shall permit **the TSF, another trusted IT product** to initiate communication via the trusted channel.

**FTP\_ITC.1.3** The TSF shall initiate communication via the trusted channel for **communication of D.DOC, D.FUNC, D.PROT, and D.CONF over any Shared-medium Interface.**

## 6.2. Security Assurance Requirements

表 6-13 lists the security assurance requirements for 2600.2-PP, Protection Profile for Hardcopy Devices, Operational Environment B, and related SFR packages, EAL 2 augmented by ALC\_FLR.2.

**表 6-13. IEEE 2600.2 Security Assurance Requirements**

Assurance class	Assurance components
ADV: Development	ADV_ARC.1 Security architecture description
	ADV_FSP.2 Security-enforcing functional specification
	ADV_TDS.1 Basic design
AGD: Guidance documents	AGD_OPE.1 Operational user guidance
	AGD_PRE.1 Preparative procedures
ALC: Life-cycle support	ALC_CMC.2 Use of a CM system
	ALC_CMS.2 Parts of the TOE CM coverage
	ALC_DEL.1 Delivery procedures
	ALC_FLR.2 Flaw reporting procedures (augmentation of EAL 2)
ASE: Security Target evaluation	ASE_CCL.1 Conformance claims
	ASE_ECD.1 Extended components definition
	ASE_INT.1 ST introduction
	ASE_OBJ.2 Security objectives
	ASE_REQ.2 Derived security requirements
	ASE_SPD.1 Security problem definition
	ASE_TSS.1 TOE summary specification
ATE: Tests	ATE_COV.1 Evidence of coverage

	ATE_FUN.1 Functional testing
	ATE_IND.2 Independent testing – sample
AVA: Vulnerability assessment	AVA_VAN.2 Vulnerability analysis

### 6.3. Security Requirements Rationale

本章は、セキュリティ機能要件根拠、セキュリティ保証要件根拠、及び依存性分析を記す。

#### 6.3.1. Security Functional Requirements rationale

表 6-14 demonstrate the completeness of SFRs that fulfill the objectives of the TOE. Bold typeface items provide principal (P) fulfillment of the objectives, and normal typeface items provide supporting (S) fulfillment.

**表 6-14. Completeness of security requirements**

	O.DOC.NO_DIS	O.DOC.NO_ALT	O.FUNC.NO_ALT	O.PROT.NO_ALT	O.CONF.NO_DIS	O.CONF.NO_ALT	O.USER.AUTHORIZED	O.INTERFACE.MANAGED	O.SOFTWARE.VERIFIED	O.AUDIT.LOGGED	O.AUDIT_STORAGE.PROTECTED	O.AUDIT_ACCESS.AUTHORIZED
FAU_GEN.1										<b>P</b>		
FAU_GEN.2										<b>P</b>		
FAU_SAR.1												<b>P</b>
FAU_SAR.2												<b>P</b>
FAU_STG.1											<b>P</b>	
FAU_STG.4											<b>P</b>	
FDP_ACC.1(a)	<b>P</b>	<b>P</b>	<b>P</b>									
FDP_ACC.1(b)							<b>P</b>					
FDP_ACF.1(a)	S	S	S									
FDP_ACF.1(b)							S					
FDP_RIP.1	<b>P</b>											
FIA_AFL.1							S					
FIA_ATD.1							S					
FIA_SOS.1							S					
FIA_UAU.1							<b>P</b>	<b>P</b>				
FIA_UAU.7							S					

FIA_UID.1	S	S	S	S	S	S	P	P		S		
FIA_USB.1							P					
FMT_MSA.1(a)	S	S	S									
FMT_MSA.1(b)							S					
FMT_MSA.3(a)	S	S	S									
FMT_MSA.3(b)							S					
FMT_MTD.1				P	P	P						
FMT_SMF.1	S	S	S	S	S	S						
FMT_SMR.1	S	S	S	S	S	S	S					
FPT_FDI_EXP.1								P				
FPT_STM.1										S		
FPT_TST.1									P			
FTA_SSL.3							P	P				
FTP_ITC.1	P	P	P	P	P	P						

TOE の対策方針を実現する SFR の十分性を表 6-15 に示す。

表 6-15. Sufficiency of security requirements

対策方針	SFR	目的
O.DOC.NO_DIS (不正な開示からの D.DOC の保護)	<b>FDP_ACC.1(a)</b>	<b>アクセス制御方針を確立して保護を実施する</b>
	FDP_ACF.1(a)	アクセス制御機能を提供してアクセス制御方針を支援する
	<b>FDP_RIP.1</b>	<b>残存データを利用不能にして保護を実施する</b>
	FIA_UID.1	利用者識別を要求してアクセス制御とセキュリティの役割を支援する
	FMT_MSA.1(a)	セキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_MSA.3(a)	デフォルトのセキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_SMF.1	属性を管理する機能を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求してセキュリティ属性管理を支援する
O.DOC.NO_ALT (不正な改変からの D.DOC の保護)	<b>FTP_ITC.1</b>	<b>共有メディアインターフェイス上で通信する際、高信頼チャネルの使用を要求して保護を実施する</b>
	<b>FDP_ACC.1(a)</b>	<b>アクセス制御方針を確立して保護を実施する</b>
	FDP_ACF.1(a)	アクセス制御機能を提供してアクセス制御方針を支援する

	FIA_UID.1	利用者識別を要求してアクセス制御とセキュリティの役割を支援する
	FMT_MSA.1(a)	セキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_MSA.3(a)	デフォルトのセキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_SMF.1	属性を管理する機能を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FTP_ITC.1	共有メディアインターフェイス上で通信する際、高信頼チャンネルの使用を要求して保護を実施する
O.FUNC.NO_ALT (不正な変更からの D.FUNC の保護)	FDP_ACC.1(a)	アクセス制御方針を確立して保護を実施する
	FDP_ACF.1(b)	アクセス制御機能を提供してアクセス制御方針を支援する
	FIA_UID.1	利用者識別を要求してアクセス制御とセキュリティの役割を支援する
	FMT_MSA.1(a)	セキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_MSA.3(a)	デフォルトのセキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_SMF.1	属性を管理する機能を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求してセキュリティ属性管理を支援する
O.PROT.NO_ALT (不正な変更からの D.PROT の保護)	FIA_UID.1	利用者識別を要求してアクセス制御とセキュリティの役割を支援する
	FMT_MTD.1	アクセスを制限して保護を実施する
	FMT_SMF.1	属性を管理する機能を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FTP_ITC.1	共有メディアインターフェイス上で通信する際、高信頼チャンネルの使用を要求して保護を実施する
O.CONF.NO_DIS (不正な開示からの D.CONF の保護)	FIA_UID.1	利用者識別を要求してアクセス制御とセキュリティの役割を支援する

	<b>FMT_MTD.1</b>	<b>アクセスを制限して保護を実施する</b>
	FMT_SMF.1	属性を管理する機能を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	<b>FTP_ITC.1</b>	<b>共有メディアインターフェイス上で通信する際、高信頼チャンネルの使用を要求して保護を実施する</b>
O.CONF.NO_ALT (不正な改変からの D.CONF の保護)	FIA_UID.1	利用者識別を要求してアクセス制御とセキュリティの役割を支援する
	<b>FMT_MTD.1</b>	<b>アクセスを制限して保護を実施する</b>
	FMT_SMF.1	属性を管理する機能を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求してセキュリティ属性管理を支援する
	<b>FTP_ITC.1</b>	<b>共有メディアインターフェイス上で通信する際、高信頼チャンネルの使用を要求して保護を実施する</b>
O.USER.AUTHORIZED (一般利用者と管理者に対する TOE を使用する権限の付与)	<b>FDP_ACC.1(b)</b>	<b>アクセス制御方針を確立して権限付与を実施する</b>
	FDP_ACF.1(b)	アクセス制御機能を提供してアクセス制御方針を支援する
	FIA_AFL.1	アクセス制御を要求して権限付与を実施する
	FIA_ATD.1	セキュリティ属性を利用者に関連付けて権限付与を支援する
	FIA_SOS.1	秘密の仕様を要求して権限付与を支援する
	<b>FIA_UAU.1</b>	<b>利用者認証を要求して権限付与を実施する</b>
	FIA_UAU.7	利用者認証を要求して権限付与を実施する
	<b>FIA_UID.1</b>	<b>利用者識別を要求して権限付与を実施する</b>
	<b>FIA_USB.1</b>	<b>利用者の役割に関連付けられたサブジェクトのセキュリティ属性を区別して権限付与を実施する</b>
	FMT_MSA.1(b)	セキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する
	FMT_MSA.3(b)	デフォルトのセキュリティ属性管理を実施してアクセス制御機能を支援する。
	FMT_SMR.1	セキュリティの役割を要求して権限付与を支援する
	<b>FTA_SSL.3</b>	<b>休止中のセッションを終了して権限付与を実施する</b>
O.INTERFACE.MANAGED	<b>FIA_UAU.1</b>	<b>利用者認証を要求して外部インターフェイス管理</b>

(外部インターフェースの管理)		を実施する
	FIA_UID.1	利用者識別を要求して外部インターフェース管理を実施する
	FPT_FDI_EXP.1	(必要に応じて、)外部インターフェースから共有メディアインターフェースへのデータ転送を管理者が管理することを要求して、外部インターフェースの管理を実施する
	FTA_SSL.3	休止中のセッションを終了して外部インターフェースの管理を実施する
O.SOFTWARE.VERIFIED (ソフトウェア完全性の検証)	FPT_TST.1	自己テストを要求してソフトウェア検証を実施する
O.AUDIT.LOGGED (監査対象事象の記録)	FAU_GEN.1	関連事象のロギングを要求して監査方針を実施する
	FAU_GEN.2	監査対象事象に関連付けられた情報のロギングを要求して監査方針を実施する
	FIA_UID.1	利用者識別を事象に関連付けて監査方針を支援する
	FPT_STM.1	事象に関連付けられたタイムスタンプを要求して監査方針を支援する
O. AUDIT_STORAGE.PROTECTED (不正なアクセス、削除、及び改変からの監査データの保護)	FAU_STG.1	権限付与されていない削除や改変から保護して監査方針を実施する
	FAU_STG.4	監査データの損失を防止して監査方針を実施する
O. AUDIT_ACCESS.AUTHORIZED (セキュリティ監査記録の監査)	FAU_SAR.1	セキュリティ監査記録を提供して監査方針を実施する
	FAU_SAR.2	セキュリティ監査記録の読み出しを制限して監査方針を実施する

### 6.3.2.Security Assurance Requirements rationale

This Security Target has been developed for Hardcopy Devices used in restrictive commercial information processing environments that require a relatively high level of document security, operational accountability, and information assurance. The TOE environment will be exposed to only a low level of risk because it is assumed that the TOE will be located in a restricted or monitored environment that provides almost constant protection from unauthorized and unmanaged access to the TOE and its data interfaces. Agents cannot physically access any nonvolatile storage without disassembling the TOE except for removable nonvolatile storage devices, where protection of User and TSF Data are provided when such devices are removed from the TOE environment. Agents have limited or no means of infiltrating the TOE with code to effect a change, and the TOE self-verifies its executable code to detect unintentional

onal malfunctions. As such, the Evaluation Assurance Level 2 is appropriate.

EAL 2 is augmented with ALC\_FLR.2, Flaw reporting procedures. ALC\_FLR.2 ensures that instructions and procedures for the reporting and remediation of identified security flaws are in place, and their inclusion is expected by the consumers of this TOE.

### 6.3.3.依存性分析

TOE セキュリティ機能要件に関して、本 ST における依存性の分析結果を表 6-16 に示す。

**表 6-16. TOE セキュリティ機能要件の依存性分析結果**

機能要件	CC にて要求される依存性	本 ST における依存関係
FAU_GEN.1	・ FPT_STM.1	・ FPT_STM.1
FAU_GEN.2	・ FAU_GEN.1 ・ FIA_UID.1	・ FAU_GEN.1 ・ FIA_UID.1
FAU_SAR.1	・ FAU_GEN.1	・ FAU_GEN.1
FAU_SAR.2	・ FAU_SAR.1	・ FAU_SAR.1
FAU_STG.1	・ FAU_GEN.1	・ FAU_GEN.1
FAU_STG.4	・ FAU_STG.1	・ FAU_STG.1
FDP_ACC.1(a)	・ FDP_ACF.1	・ FDP_ACF.1(a)
FDP_ACC.1(b)	・ FDP_ACF.1	・ FDP_ACF.1(b)
FDP_ACF.1(a)	・ FDP_ACC.1 ・ FMT_MSA.3	・ FDP_ACC.1(a) ・ FMT_MSA.3(a)
FDP_ACF.1(b)	・ FDP_ACC.1 ・ FMT_MSA.3	・ FDP_ACC.1(b) ・ FMT_MSA.3(b)
FDP_RIP.1	・ なし	・ なし
FIA_AFL.1	・ FIA_UAU.1	・ FIA_UAU.1
FIA_ATD.1	・ なし	・ なし
FIA_SOS.1	・ なし	・ なし
FIA_UAU.1	・ FIA_UID.1	・ FIA_UID.1
FIA_UAU.7	・ FIA_UAU.1	・ FIA_UAU.1
FIA_UID.1	・ なし	・ なし
FIA_USB.1	・ FIA_ATD.1	・ FIA_ATD.1
FMT_MSA.1(a)	・ [FDP_ACC.1 or FDP_IFC.1] ・ FMT_SMR.1 ・ FMT_SMF.1	・ FDP_ACC.1(a) ・ FMT_SMR.1 ・ FMT_SMF.1
FMT_MSA.1(b)	・ [FDP_ACC.1 or FDP_IFC.1] ・ FMT_SMR.1 ・ FMT_SMF.1	・ FDP_ACC.1(b) ・ FMT_SMR.1 ・ FMT_SMF.1
FMT_MSA.3(a)	・ FMT_MSA.1 ・ FMT_SMR.1	・ FMT_MSA.1(a) ・ FMT_SMR.1

FMT_MSA.3(b)	・ FMT_MSA.1 ・ FMT_SMR.1	・ FMT_MSA.1(b) ・ FMT_SMR.1
FMT_MTD.1	・ FMT_SMR.1 ・ FMT_SMF.1	・ FMT_SMR.1 ・ FMT_SMF.1
FMT_SMF.1	・ なし	・ なし
FMT_SMR.1	・ FIA_UID.1	・ FIA_UID.1
FPT_FDI_EXP.1	・ FMT_SMF.1 ・ FMT_SMR.1	・ FMT_SMF.1 ・ FMT_SMR.1
FPT_STM.1	・ なし	・ なし
FPT_TST.1	・ なし	・ なし
FTA_SSL.3	・ なし	・ なし
FTP_ITC.1	・ なし	・ なし

以上より、全ての依存性を満たしている。

## 7. TOE Summary Specification

本章は、TOE 要約仕様を記す。

### 7.1. ユーザ識別・認証機能

ユーザ識別・認証機能とは、TOE に対する利用者を識別認証する機能のことである。ユーザ識別・認証機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FIA\_AFL.1、FIA\_ATD.1、FIA\_SOS.1、FIA\_UAU.1、FIA\_UAU.7、FIA\_UID.1、FIA\_USB.1、FTA\_SSL.3

#### (1) FIA\_AFL.1 認証失敗時の取扱い

TOE は、ログオンまたは認証に失敗した場合、表 7-1 に示す通り、当該アカウントをロック状態にする。また、各ロックアウトは、ユーザ単位ではなくインターフェイス単位に実行される。

表 7-1. 認証失敗時アクションのリスト

ログオンまたは認証のパターン	認証不成功時のアクション
管理者による操作パネルからのログオン	0.6 秒間、当該管理者をロックアウトする
一般利用者による操作パネルからのログオン	0.6 秒間、当該一般利用者をロックアウトする
管理者による Web Config からのログオン	1 秒間、当該管理者をロックアウトする
パスワード付き印刷ジョブ受付時の認証	1 秒間、当該一般利用者をロックアウトする

#### (2) FIA\_ATD.1 利用者属性定義

TOE は、表 7-2 に示す通り、利用者属性を定義し、維持する。

表 7-2. セキュリティ属性のリスト

利用者	セキュリティ属性
U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用者役割 利用機能リスト
U.ADMINISTRATOR	利用者役割

#### (3) FIA\_SOS.1 秘密の検証

TOE は、パスワード(一般利用者パスワードまたは管理者パスワード)が定義された品質尺度に合致するか否かを検証する。品質尺度とは、以下の通り。

- 桁数:8 桁以上(最大 20 桁まで)とすること
- 文字種:必ず、以下の文字を 1 文字以上含むこと
  - ・ 英大文字
  - ・ 英小文字
  - ・ 数字
  - ・ 記号(!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@[¥]^\_`{|}~ )

#### (4) FIA\_UAU.1 認証のタイミング

## FIA\_UID.1 識別のタイミング

TOE は、一般利用者がログオン時に入力する一般利用者 User ID 及び一般利用者パスワードに関して、TOE 内部に登録された一般利用者 User ID 及び一般利用者パスワードに一致することを検証する。TOE は、一般利用者が発行したパスワード付き印刷ジョブ受付時、TOE 内部に登録された一般利用者 User ID 及び一般利用者パスワードに一致することを検証する。TOE は、管理者がログオン時に入力する管理者 User ID 及び管理者パスワードに関して、TOE 内部に登録された管理者 User ID 及び管理者パスワードに一致することを検証する。TOE は、一般利用者及び管理者による識別認証が実施される前に、以下のアクションを許可する。

- 操作パネルでのプリンター情報の表示
- 操作パネルからのプリンター情報の印刷
- 操作パネルでのネットワーク情報の表示
- 操作パネルからのネットワーク情報の印刷
- 操作パネルでのジョブ一覧の表示
- 操作パネルでのヘルプの表示
- Web Config でのプリンター情報の表示
- Web Config でのネットワーク情報の表示
- 操作パネルでの FAX 情報の表示
- 操作パネルからの FAX 情報の印刷
- 操作パネルからのプリンターメンテナンス機能の実行
- プリンタードライバでのプリンターステータスの表示

## (5) FIA\_UAU.7 保護された認証フィードバック

TOE は、操作パネルまたは Web Config からのログオンに際し、パスワード入力時、表 7-3 に示すダミー文字をログオン画面に表示する。

表 7-3. パスワード入力時のダミー文字

アクション主体	ダミー文字
管理者による操作パネルからのログオン	入力回数分の * 文字
一般利用者による操作パネルからのログオン	入力回数分の * 文字
管理者による Web Config からのログオン	入力回数分のマスク文字 ※マスクする文字種はブラウザーに依存する

## (6) FIA\_USB.1 利用者-サブジェクト結合

TOE は、利用者が識別認証に成功した場合、表 7-4 に示す通り、一般利用者 User ID、利用者役割、及び利用機能リストの利用者属性をサブジェクトに関連付ける。

表 7-4. 属性の最初の関連付け規則

利用者	サブジェクト	利用者セキュリティ属性
一般利用者	U.NORMAL	一般利用者 User ID 利用者役割 利用機能リスト

管理者	U.ADMINISTRATOR	利用者役割
-----	-----------------	-------

## (7) FTA\_SSL.3 TSF 起動による終了

TOEは、表 7-5に示す通り、操作パネルまたはWeb Configからの操作に際し、一定時間無操作状態が継続した場合、自動的にログオフする。

表 7-5. 利用者が非アクティブである時間間隔

アクション	利用者が非アクティブである時間間隔
管理者による操作パネルからのログオン	「無操作タイマー設定」指定時間 (管理者により、10 秒から 240 分の範囲で指定可能)
一般利用者による操作パネルからのログオン	「無操作タイマー設定」指定時間 (管理者により、10 秒から 240 分の範囲で指定可能)
管理者による Web Config からのログオン	20 分

## 7.2. 利用者データアクセス制御機能

利用者データアクセス制御機能とは、利用者データに対する操作を制御する機能のことである。利用者データアクセス制御機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FDP\_ACC.1(a)、FDP\_ACF.1(a)、FMT\_MSA.3(a)

## (1) FDP\_ACC.1(a) サブセットアクセス制御

FDP\_ACF.1(a) セキュリティ属性によるアクセス制御

TOEは、表 7-6に示す基本機能により生成されるD.DOC及びD.FUNCに対し、各利用者に対するアクセス制御規則に則り、許可された利用者のみデータへのアクセスを許可する。

表 7-6. 利用者データアクセス制御機能のアクセス制御規則

データ	操作	利用者	アクセス制御規則
D.DOC (プリント)	印刷 削除	一般利用者	利用機能リストに「プリント機能(PRT)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「プリント」かつ一般利用者の一般利用者 User ID と一致するデータに対してのみ操作を許可する
	削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「プリント」のデータに対してのみ操作を許可する
D.DOC (スキャン)	メール添付送信 指定フォルダ送信 削除	一般利用者	利用機能リストに「スキャン機能(SCN)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「スキャン」かつ一般利用者の一般利用者 User ID と一致するデータに対してのみ操作を許可する  ・メール添付送信とは、D.DOC をメールに添付して送信する機能であり、スキャンと

			<p>の一連の操作にて完了する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定フォルダ送信とは、D.DOC をネットワーク上の共有フォルダに送信する機能であり、スキャンとの一連の操作にて完了する</li> </ul>
	メール添付送信 指定フォルダ送信 削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「スキャン」のデータに対してのみ操作を許可する
D.DOC (コピー)	コピー印刷 削除	一般利用者	<p>利用機能リストに「コピー機能(CPY)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「コピー」かつ一般利用者の一般利用者 User ID と一致するデータに対してのみ操作を許可する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コピー印刷とは、スキャンとハードコピー出力との一連の操作にて完了する</li> </ul>
	コピー印刷 削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「コピー」のデータに対してのみ操作を許可する
D.DOC (FAX 受信) (文書の保存と取り出し)	FAX 受信印刷 メール添付送信 指定フォルダ送信 FAX 転送 操作パネルでのプレビュー表示 削除	一般利用者	<p>利用機能リストに「FAX 受信機能(FAXI N)」及び「文書の保存と取り出し機能(DS R)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メール添付送信とは、D.DOC をメールに添付して送信する機能であり、FAX 受信との一連の操作にて完了する</li> <li>指定フォルダ送信とは、D.DOC をネットワーク上の共有フォルダに送信する機能であり、FAX 受信との一連の操作にて完了する</li> <li>FAX 転送とは、D.DOC を別の FAX アドレスに転送する機能であり、FAX 受信との一連の操作にて完了する</li> <li>操作パネルでのプレビュー表示とは、D.DOC を操作パネルに表示する機能であり、FAX 受信との一連の操作にて完了する</li> </ul>
	FAX 受信印刷	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「FAX 受

	メール添付送信 指定フォルダ送信 FAX 転送 操作パネルでのプレビュー表示 削除		信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する
D.DOC (FAX 送信) (文書の保存と取り出し)	FAX 送信 操作パネルでのプレビュー表示 削除	一般利用者	利用機能リストに「FAX 送信機能(FAXOUT)」及び「文書の保存と取り出し機能(DSR)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する ・ 操作パネルでのプレビュー表示とは、D.DOC を操作パネルに表示する機能であり、FAX 送信との一連の操作にて完了する
	FAX 送信 操作パネルでのプレビュー表示 削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する
D.FUNC (プリント)	削除	一般利用者	利用機能リストに「プリント機能(PRT)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「プリント」かつ一般利用者の一般利用者 User ID と一致するデータに対してのみ操作を許可する
	削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「プリント」のデータに対してのみ操作を許可する
	修正	一般利用者 管理者	操作を許可しない
D.FUNC (スキャン)	削除	一般利用者	利用機能リストに「スキャン機能(SCN)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「スキャン」かつ一般利用者の一般利用者 User ID と一致するデータに対してのみ操作を許可する
	削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「スキャン」のデータに対してのみ操作を許可する
	修正	一般利用者 管理者	操作を許可しない

D.FUNC (コピー)	削除	一般利用者	利用機能リストに「コピー機能(CPY)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「コピー」かつ一般利用者の一般利用者 User ID と一致するデータに対してのみ操作を許可する
	削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「コピー」のデータに対してのみ操作を許可する
	修正	一般利用者 管理者	操作を許可しない
D.FUNC (FAX 受信) (文書の保存と取り出し)	削除	一般利用者	利用機能リストに「FAX 受信機能(FAXI N)」及び「文書の保存と取り出し機能(DS R)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する
	削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「FAX 受信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する
	修正	一般利用者 管理者	操作を許可しない
D.FUNC (FAX 送信) (文書の保存と取り出し)	削除	一般利用者	利用機能リストに「FAX 送信機能(FAXOU T)」及び「文書の保存と取り出し機能(DS R)」が付与される一般利用者に対して、文書情報属性が「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する
	削除	管理者	管理者に対して、文書属性情報が「FAX 送信」及び「文書の保存と取り出し」のデータに対してのみ操作を許可する
	修正	一般利用者 管理者	操作を許可しない

## (2) FMT\_MSA.3(a) 静的属性初期化

TOE は、実行される MFP 機能に応じて新規に生成される D.DOC 及び D.FUNC に対し、表 7-7 に示す属性を初期値として設定する。

表 7-7. セキュリティ属性の初期値

機能	データ	セキュリティ属性の初期値
MFP 機能	D.DOC	データを作成した一般利用者の「一般利用者 User ID」

(プリント)	D.FUNC	文書情報属性(プリント)
MFP 機能 (スキャン)	D.DOC	データを作成した一般利用者の一般利用者 User ID
	D.FUNC	※但し、管理者の場合は識別子「Administrator」 文書情報属性(スキャン)
MFP 機能 (コピー)	D.DOC	データを作成した一般利用者の一般利用者 User ID
	D.FUNC	※但し、管理者の場合は識別子「Administrator」 文書情報属性(コピー)
MFP 機能 (FAX 受信)	D.DOC	文書情報属性(FAX 受信)
	D.FUNC	文書情報属性(文書の保存と取り出し)
MFP 機能 (FAX 送信)	D.DOC	文書情報属性(FAX 送信)
	D.FUNC	文書情報属性(文書の保存と取り出し)

尚、FAX 受信に関する文書の owner は、管理者により利用機能リスト「FAX 受信機能(FAXIN)」を付与された一般利用者であり、FAX 送信に関する文書の owner は、管理者により利用機能リスト「FAX 送信機能(FAXOUT)」を付与された一般利用者である。また、表 7-7 に示すセキュリティ属性の初期値はデフォルト値でもあり、このセキュリティ属性によりアクセスが制限されることから制限的であり、デフォルト値と異なる初期値を定義する機能は存在しない。

### 7.3. TOE 機能アクセス制御機能

TOE 機能アクセス制御機能とは、TOE 機能を制御する機能のことである。TOE 機能アクセス制御機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FDP\_ACC.1(b)、FDP\_ACF.1(b)、FMT\_MSA.3(b)

- (1) FDP\_ACC.1(b)           サブセットアクセス制御  
FDP\_ACF.1(b)           セキュリティ属性によるアクセス制御

TOE は、表 7-8 に示す基本機能に対し、各利用者に対するアクセス制御規則に則り、許可された利用者のみジョブ実行を許可する。

表 7-8. TOE 機能アクセス制御機能のアクセス制御規則

機能	操作	利用者	アクセス制御規則
MFP 機能 (プリント)	ジョブの実行 ジョブの削除	一般利用者	利用機能リストに「プリント機能(PRT)」が付与される一般利用者に対して、操作を許可する
	ジョブの削除	管理者	管理者に対して、機能種別が「プリント属性」の機能に対してのみ操作を許可する
MFP 機能 (スキャン)	ジョブの実行 ジョブの削除	一般利用者	利用機能リストに「スキャン機能(SCN)」が付与される一般利用者に対して、操作を許可する
	ジョブの実行	管理者	管理者に対して、機能種別が「スキャン属

	ジョブの削除		性」の機能に対してのみ操作を許可する
MFP 機能 (コピー)	ジョブの実行 ジョブの削除	一般利用者	利用機能リストに「コピー機能(CPY)」が 付与される一般利用者に対して、操作を 許可する
	ジョブの実行 ジョブの削除	管理者	管理者に対して、機能種別が「コピー属 性」の機能に対してのみ操作を許可する
MFP 機能 (FAX)	ジョブの実行 ジョブの削除	一般利用者	利用機能リストに「FAX 受信機能(FAXI N)」及び「FAX 送信機能(FAXOUT)」が 付与される一般利用者に対して、操作を 許可する
	ジョブの実行 ジョブの削除	管理者	管理者に対して、機能種別が「FAX 属性」 の機能に対してのみ操作を許可する
MFP 機能 (文書の保存と取り 出し)	ジョブの実行 ジョブの削除	一般利用者	利用機能リストに「文書の保存と取り出し 機能(DSR)」が付与される一般利用者 に対して、操作を許可する
	ジョブの実行 ジョブの削除	管理者	管理者に対して、機能種別が「文書の保 存と取り出し属性」の機能に対してのみ 操作を許可する

## (2) FMT\_MSA.3(b) 静的属性初期化

TOE は、新規に登録される U.NORMAL に対し、「利用機能リスト」をセキュリティ属性として設定するが、初期値は全機能を使用不可とする。セキュリティ属性の初期値はデフォルト値でもあり、このセキュリティ属性によりアクセスが制限されることから制限的であり、デフォルト値と異なる初期値を定義する機能は存在しない。

## 7.4. セキュリティ管理機能

セキュリティ管理機能とは、セキュリティ機能を管理する機能のことである。セキュリティ管理機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FMT\_MSA.1(a)、FMT\_MSA.1(b)、FMT\_MTD.1、FMT\_SMF.1、FMT\_SMR.1

## (1) FMT\_MSA.1(a) セキュリティ属性の管理

TOE は、管理者に対して、以下に記す操作を許可する。

- 一般利用者 User ID の問い合わせ、削除、新規作成
- 利用機能リストの問い合わせ、改変

利用者役割及び文書情報属性を操作できる役割はない。

## (2) FMT\_MSA.1(b) セキュリティ属性の管理

TOE は、管理者に対して、以下に記す操作を許可する。

- 利用機能リストの問い合わせ、改変

利用者役割及び機能種別を操作できる役割はない。

(3) FMT\_MTD.1 TSF データの管理

TOE は、TSF データに対し、表 7-9 に示す操作を許可された役割のみに各操作を許可する。

表 7-9. TSF データの管理

TSF データ	操作	操作を許可する利用者役割
一般利用者 User ID	削除、新規作成、問い合わせ	管理者
管理者 User ID	なし	なし
スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック	削除、新規作成、問い合わせ	管理者
	問い合わせ	一般利用者
ジョブステータスログ	問い合わせ	管理者
	問い合わせ	一般利用者
パスワードポリシー	問い合わせ、改変	管理者
無操作タイマー設定	問い合わせ、改変	管理者
管理者認証設定(操作パネル)	問い合わせ、改変	管理者
利用者制限設定	問い合わせ、改変、	管理者
IPsec の設定	問い合わせ、改変	管理者
時刻設定	問い合わせ、改変	管理者
ネットワーク設定	問い合わせ、改変	管理者
ファームウェアの完全性検証のためのハッシュ値	なし	なし
一般利用者パスワード	削除、新規作成	管理者
管理者パスワード	改変	管理者
メールサーバーやファイルサーバーなどの外装装置にアクセスするためのパスワード	新規作成、改変	管理者
監査ログ	問い合わせ	管理者
IPsec の事前共有鍵	改変	管理者

(4) FMT\_SMF.1 管理機能の特定

TOE は、以下に記すセキュリティ管理機能を提供する。

表 7-10. 管理機能のリスト

管理機能
U.ADMINISTRATOR による「一般利用者 User ID」の登録・削除・参照
U.ADMINISTRATOR による「スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック」の登録・削除・参照
U.NORMAL による「スキャン/FAX/電子メールの送信先リストまたはアドレスブック」の参照
U.ADMINISTRATOR による「ジョブステータスログ」の参照

U.NORMAL による「ジョブステータスログ」の参照
U.ADMINISTRATOR による「パスワードポリシー」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「無操作タイマー設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「管理者認証設定(操作パネル)」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「利用者制限設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「IPsec の設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「時刻設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「ネットワーク設定」の参照・変更
U.ADMINISTRATOR による「U.NORMAL の一般利用者パスワード」の登録・削除
U.ADMINISTRATOR による「U.ADMINISTRATOR の管理者パスワード」の変更
U.ADMINISTRATOR による「メールサーバーやファイルサーバーなどの外装装置にアクセスするためのパスワード」の登録・変更
U.ADMINISTRATOR による「監査ログ」の参照
U.ADMINISTRATOR による「IPsec の事前共有鍵」の変更

#### (5) FMT\_SMR.1 セキュリティの役割

TOE は、以下に記す役割を維持し、利用者を役割に関連付ける。

- 一般利用者
- 管理者

#### 7.5. 残存データ消去機能

残存データ消去機能とは、削除された文書及び一時的に保存された文書をHDD及びFlash ROMから完全に消去し、再利用不可とする機能のことである。残存データ消去機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FDP\_RIP.1

#### (1) FDP\_RIP.1 サブセット情報保護

TOE は、基本機能による各ジョブ完了後、HDD や Flash ROM に保存された D.DOC を消去する。D.DOC に使用されていた領域は、特定の値(0x00)により順次上書き消去する。HDD の上書き消去に関して、TOE 起動時、及び監視プロセスにより、残存データを発見した場合、上書き消去する。また、TOE は、操作パネルからの手動操作により、上書き消去も可能とする。

#### 7.6. 自己テスト機能

自己テスト機能とは、TSF の一部が正常動作すること、TSF データの一部及び TSF 実行コードが完全であることを、MFP 本体起動時に検証する機能のことである。自己テスト機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FPT\_TST.1

#### (1) FPT\_TST.1 TSF テスト

TOE は、MFP 本体起動時に、以下に記す自己テストを実行する。

- ファームウェアのファイルからハッシュ値を計算し、TOE 内に格納された値(ファームウェアの完全性検証のためのハッシュ値)と一致することを確認することにより、TSF データの一部(ファームウェアのハッシュ値)及び TSF 実行コードの完全性を検証すると共に、TSF の一部の正常動作を検証する機能を提供する  
本自己テストにて異常が認められた場合、TOE は、MFP の操作パネルにエラーメッセージを表示し、その後のいかなる操作も許可しない。

### 7.7. 監査ログ機能

監査ログ機能とは、TOE の使用及びセキュリティ関連事象を監査ログとして記録し、参照する機能のことである。監査ログ機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

- FAU\_GEN.1、FAU\_GEN.2、FAU\_SAR.1、FAU\_SAR.2、FAU\_STG.1、FAU\_STG.4、FPT\_STM.1

#### (1) FAU\_GEN.1 監査データ生成

TOE は、表 7-11 に示す監査対象事象が発生した際、監査データを生成し、監査ログとして記録する。

表 7-11. 監査対象事象

監査対象事象	監査データ	追加情報
監査ログ機能の開始(成功)	・ 監査対象事象の発生日時	・ なし
監査ログ機能の終了(成功)	・ 監査対象事象の種別	・ なし
認証メカニズムの使用(成功/失敗)	・ 監査対象事象のサブジェクト識別	・ なし
識別メカニズムの使用(成功/失敗)	情報	・ なし
管理機能の使用(成功/失敗)	・ 監査対象事象の結果	・ なし
時刻の変更(成功/失敗)		・ なし
IPsec 通信の失敗		・ 通信先 IP アドレス

識別メカニズムと認証メカニズムは一体であることから、識別認証に失敗した場合、「識別のみの失敗」を把握する必要はない。従って、監査対象事象「識別メカニズムの使用(成功/失敗)」の追加情報として、「利用者識別の試行」は該当しない。

#### (2) FAU\_GEN.2 利用者識別情報の関連付け

監査対象事象が利用者のアクションによってもたらされたものであるとき、TOE は、その原因となった利用者の識別情報を監査対象事象に関連付ける。

#### (3) FAU\_SAR.1 監査レビュー

TOE は、監査ログの読み出しを管理者に許可する。また、TOE は、管理者が監査ログを解釈できる形式に変換して提供する。管理者は Web Config にログオンし、監査ログ(CSV 形式ファイル)を入手する。

#### (4) FAU\_SAR.2 限定監査レビュー

TOE は、監査ログの読み出しを管理者のみに許可する。

## (5) FAU\_STG.1 保護された監査証跡格納

TOE は、全ての利用者に対して監査ログの編集を許可しない。また TOE は管理者以外の利用者に対して監査ログに対する全ての操作を許可しない。

## (6) FAU\_STG.4 監査データ損失の防止

TOE は、監査ログが満杯になった場合、最も古い日時に格納された監査ログに対して上書きする。

## (7) FPT\_STM.1 高信頼タイムスタンプ

TOE は、TOE 内部にシステム時計を有する。監査対象事象が発生した場合、このシステム時計から発生日時を監査ログに記録する。システム時計は、NTP サーバーから正確な日時を取得し、同期させることも可能。

## 7.8. ネットワーク保護機能

ネットワーク保護機能とは、LAN 利用時、ネットワークの盗聴による情報漏えい及び改変を防止する機能のことである。ネットワーク保護機能に対応するセキュリティ機能要件は以下の通り。

## - FPT\_FDI\_EXP.1、FTP\_ITC.1

## (1) FPT\_FDI\_EXP.1 外部インターフェイスへの制限された情報転送

TOE は、以下の通り、有線 LAN と電話回線の情報転送を固定的に制限する。

- TOE は、有線 LAN から入力された情報を電話回線へ TSF による追加の処理なしに直接転送しない
- TOE は、電話回線から入力された情報を有線 LAN へ TSF による追加の処理なしに直接転送しない

## (2) FTP\_ITC.1 TSF 間高信頼チャンネル

TOE は、MFP 本体と各種サーバーやクライアント PC と通信する際、高信頼チャンネルを介して通信する。TOE は、高信頼チャンネルとして、IPsec 暗号化通信を提供する。IPsec 暗号化通信に関する仕様を表 7-12 に示す。

表 7-12. IPsec 仕様

項目	詳細
暗号アルゴリズム	AES(128bits,192bits,256bits)